

滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部 第38回本部員会議 次第

日 時：令和3年4月28日(水)
10時15分～10時45分
場 所：危機管理センター
災害対策本部室

あいさつ

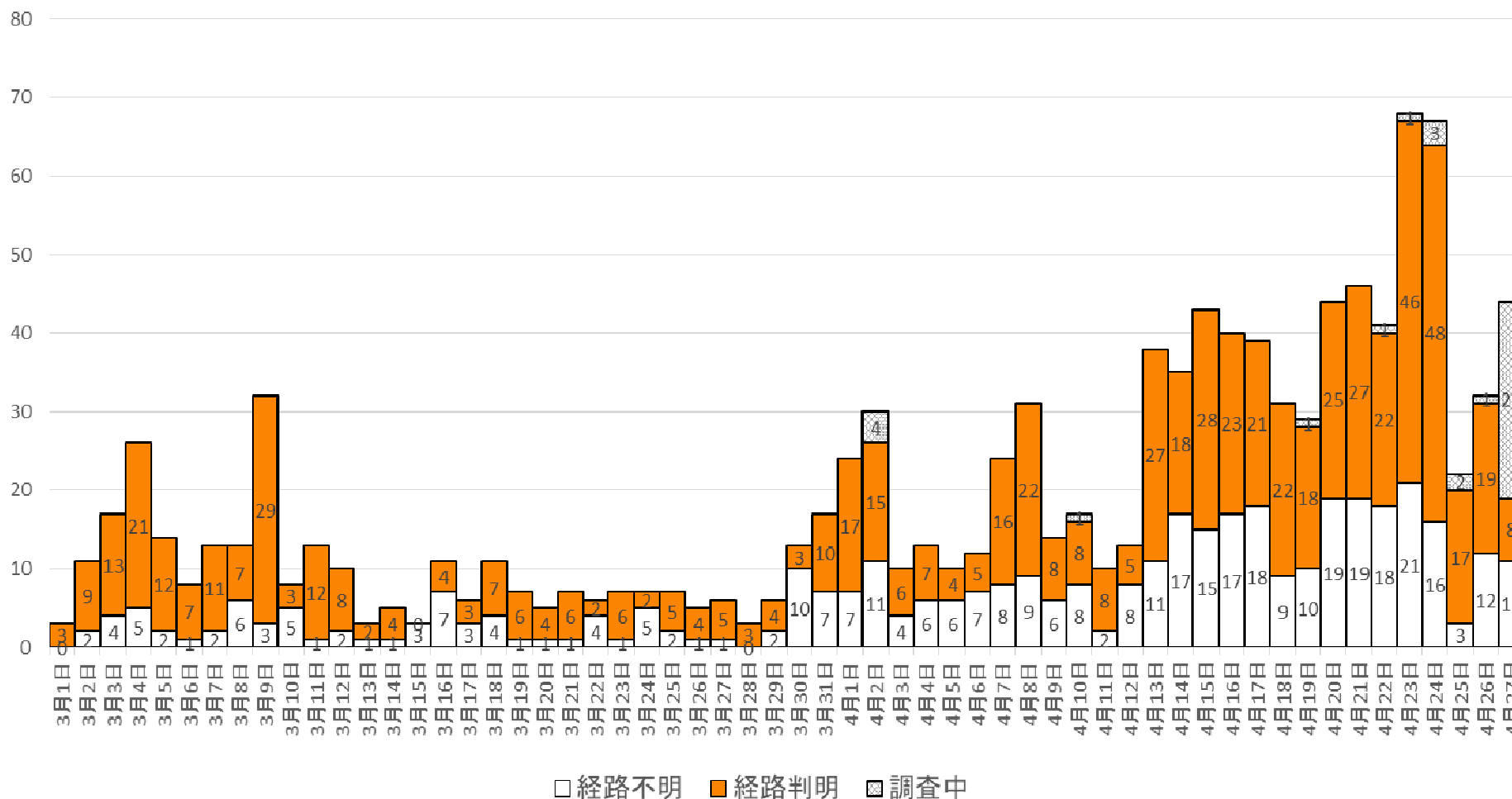
議 題

- (1) 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について
- (2) ゴールデンウィークにおける対応について
- (3) その他

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

県内の感染動向について(4/27現在)

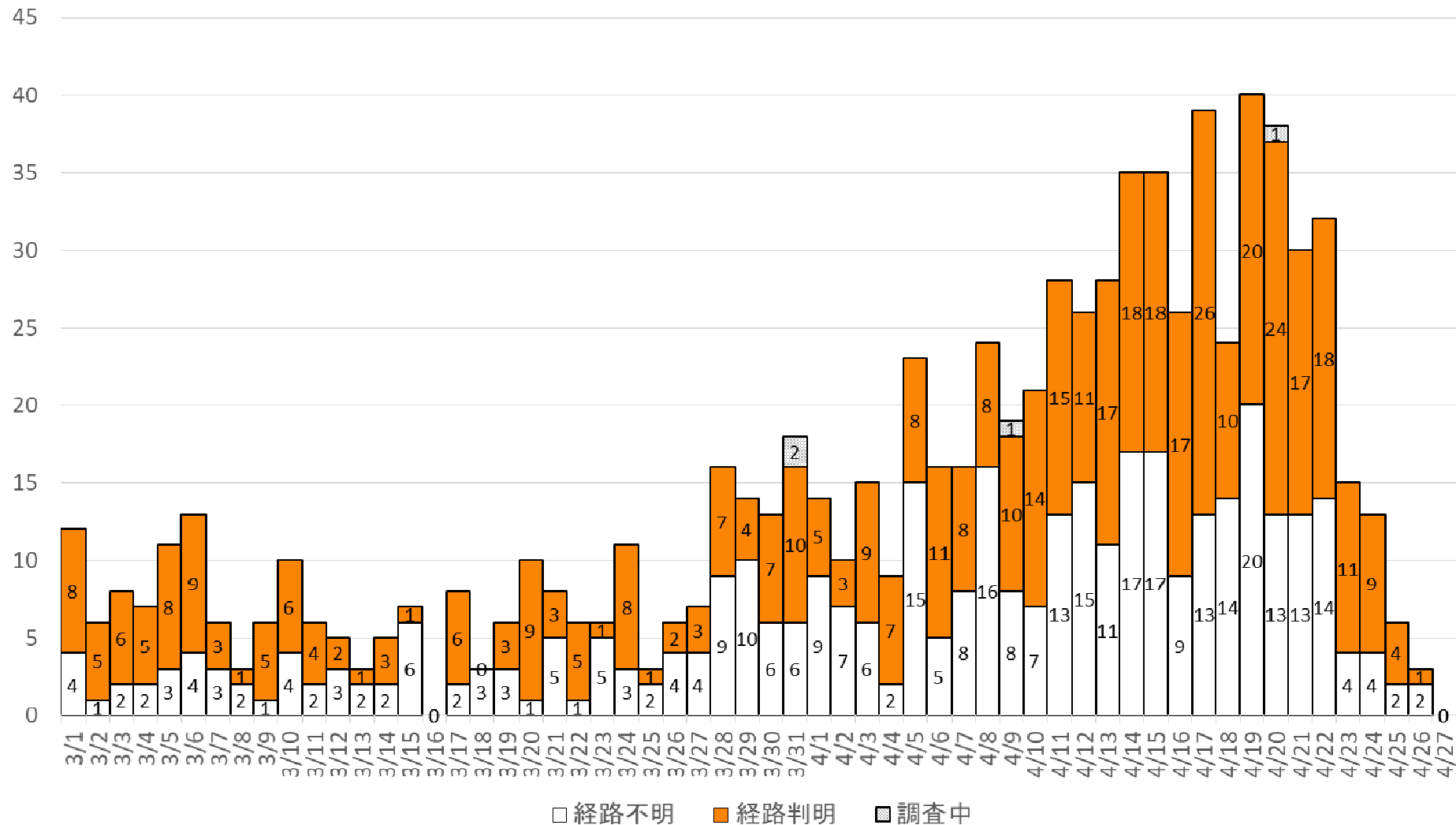
新型コロナウイルス感染の流行曲線(公表日別)
4/27 19:30現在



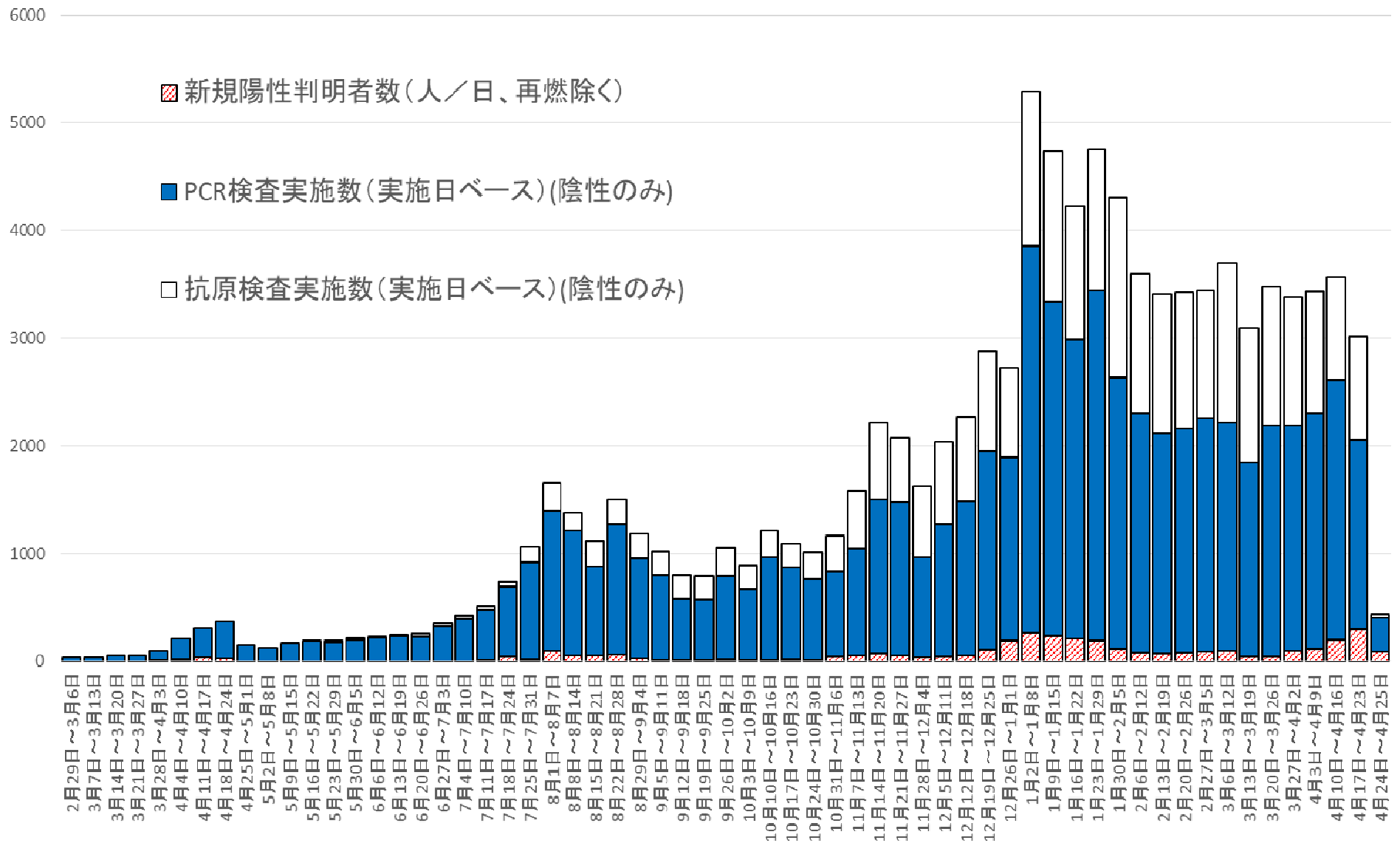
流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(4月27日現在)

新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く) 4/27 19:30現在



2)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



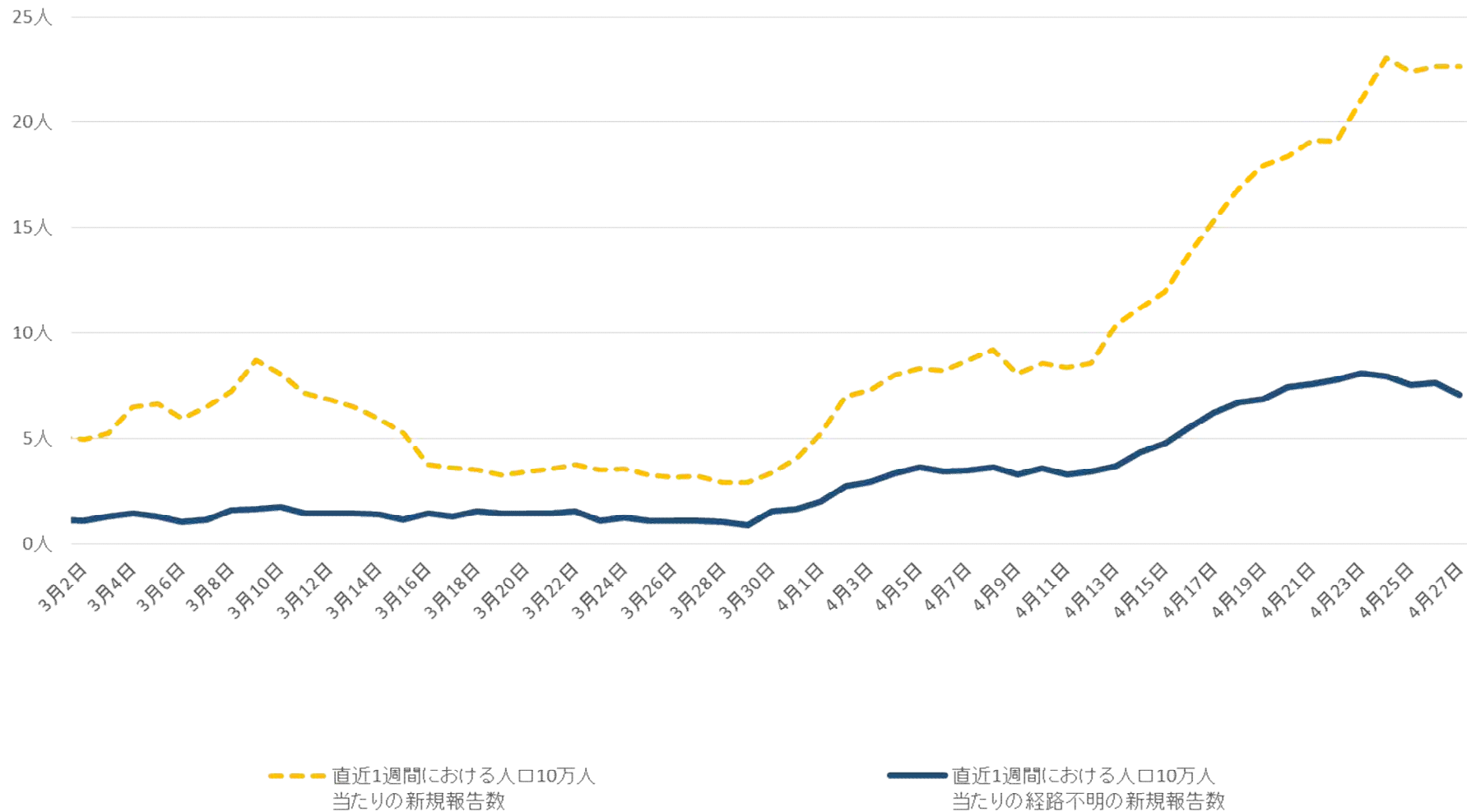
3)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、4月25日現在の陽性率は10.7%でした。

4) 経路不明の新規報告者数の推移

経路不明の新規報告者数の推移



5) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数				
		入院者数			空床数		療養者数			空数
			県内発生	その他				県内発生	その他	
総数	338	230	217	13	108	400	186	185	1	214

6) 県内の陽性者発生状況

項目	陽性者数累計	現在 陽性者数						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡								
			入院中																
				重症	中等症	軽症													
PCR検査数	71,088	468	219	9	47	163	63	186	3,068	61									
(うち行政検査分)	23,110										3,597	219	9	47	163	63	186	3,068	61
(うちその他検査分)	47,978																		
抗原検査数	30,711																		
	(うち抗原検査判明分)	872																	

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

7) その他県内の感染状況

①病床のひっ迫具合	最大確保病床の占有率※1	65.5%	③直近1週間のPCR等陽性率※4	10.7%
	現時点の確保病床数の占有率※2	68.0%	④直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	22.6人
	うち重症者用病床の最大確保病床の占有率※3	26.0%	⑤直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※5	多い
	うち重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率	26.5%	⑥直近1週間における感染経路不明割合	31.9%
②人口10万人当たりの全療養者数		33.9人		

※1 最大確保病床の数(351床)に対する割合

※2 確保済みの病床等の数に対する割合

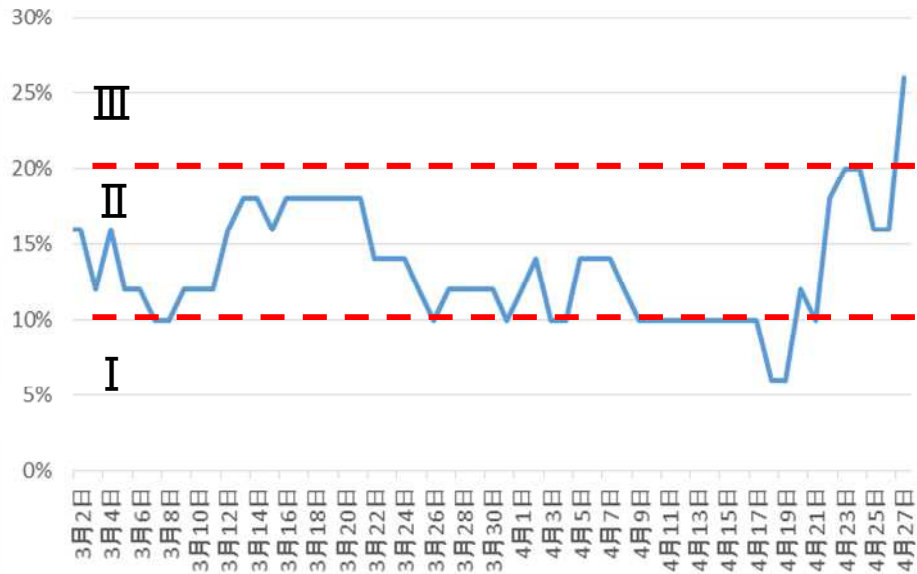
※3 最大確保病床の数(50床)に対する割合

※4 検査実施日ごとの件数に基づく陽性率

※5 直近一週間の陽性者数が先週と比較して多いか少ないか記載

重症者数	重症者以外のICU(集中治療室)利用者数	重症者用病床の現時点の確保病床数	新規感染経路不明者(直近1週間分)	PCR等検査数(直近1週間分)
9人	4人	49床	102人	2,965件

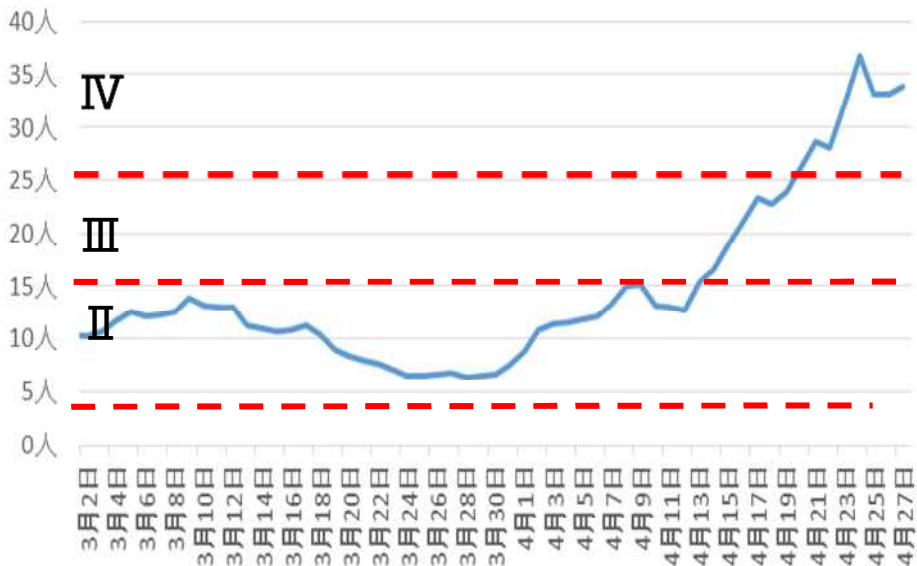
重症者用病床の最大確保病床の占有率



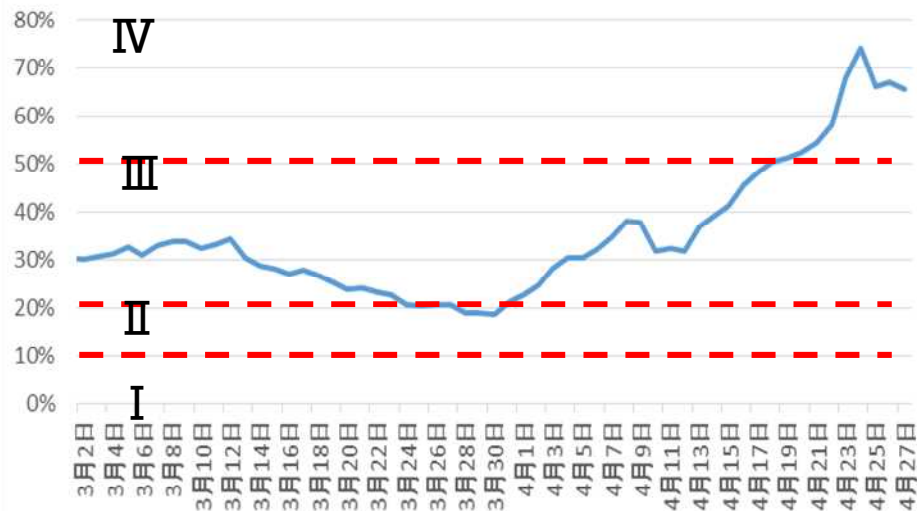
重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率



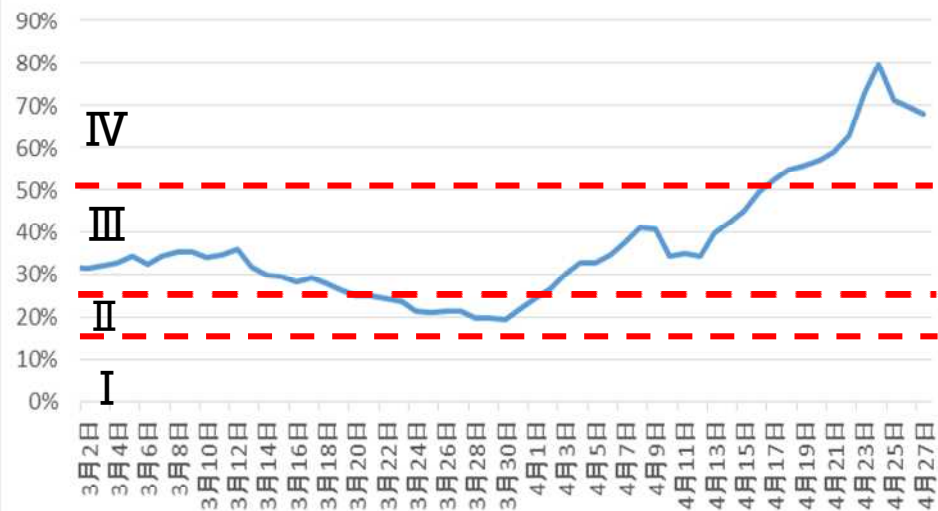
人口10万人当たりの全療養者数



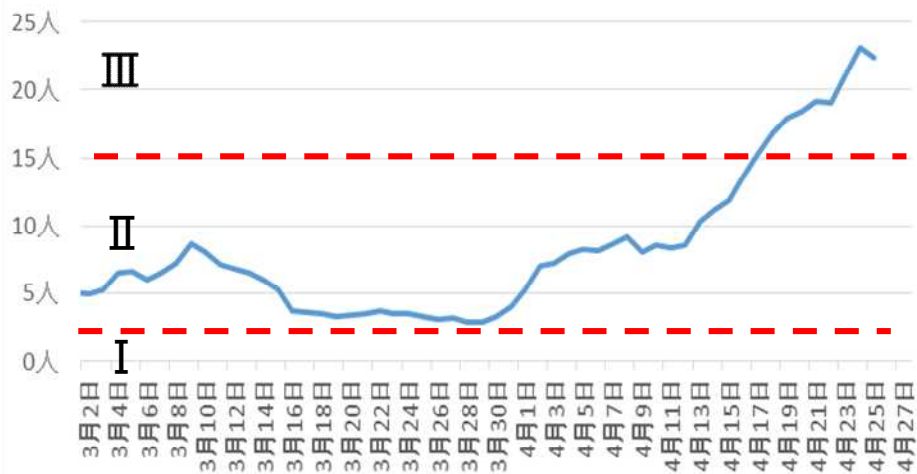
最大確保病床の占有率



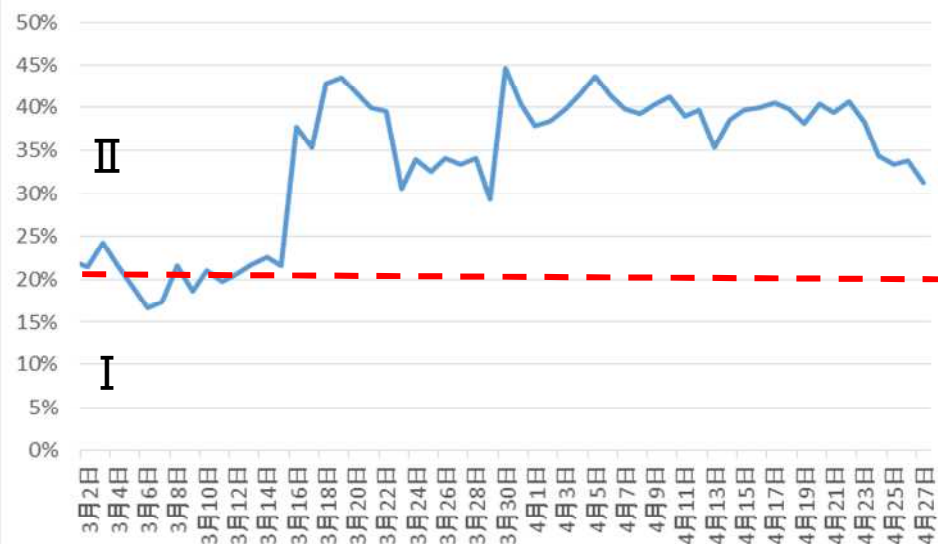
現時点の確保病床数の占有率



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



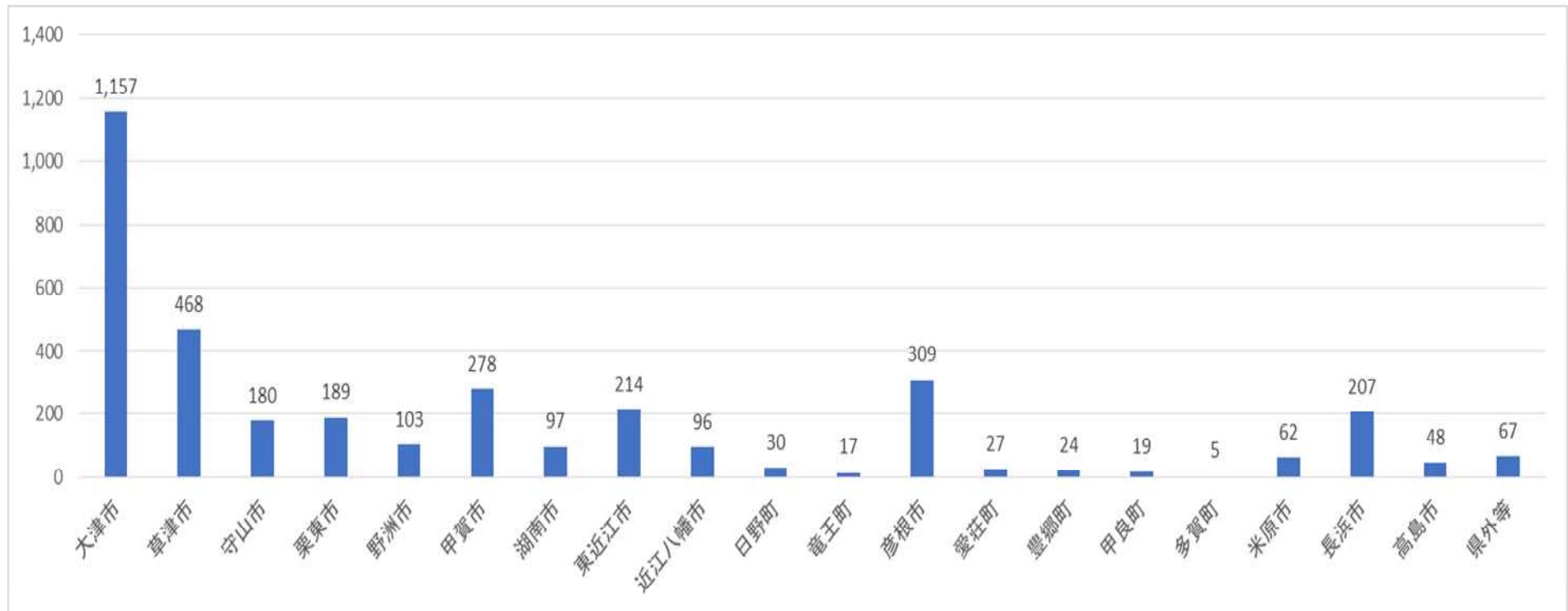
感染経路不明割合



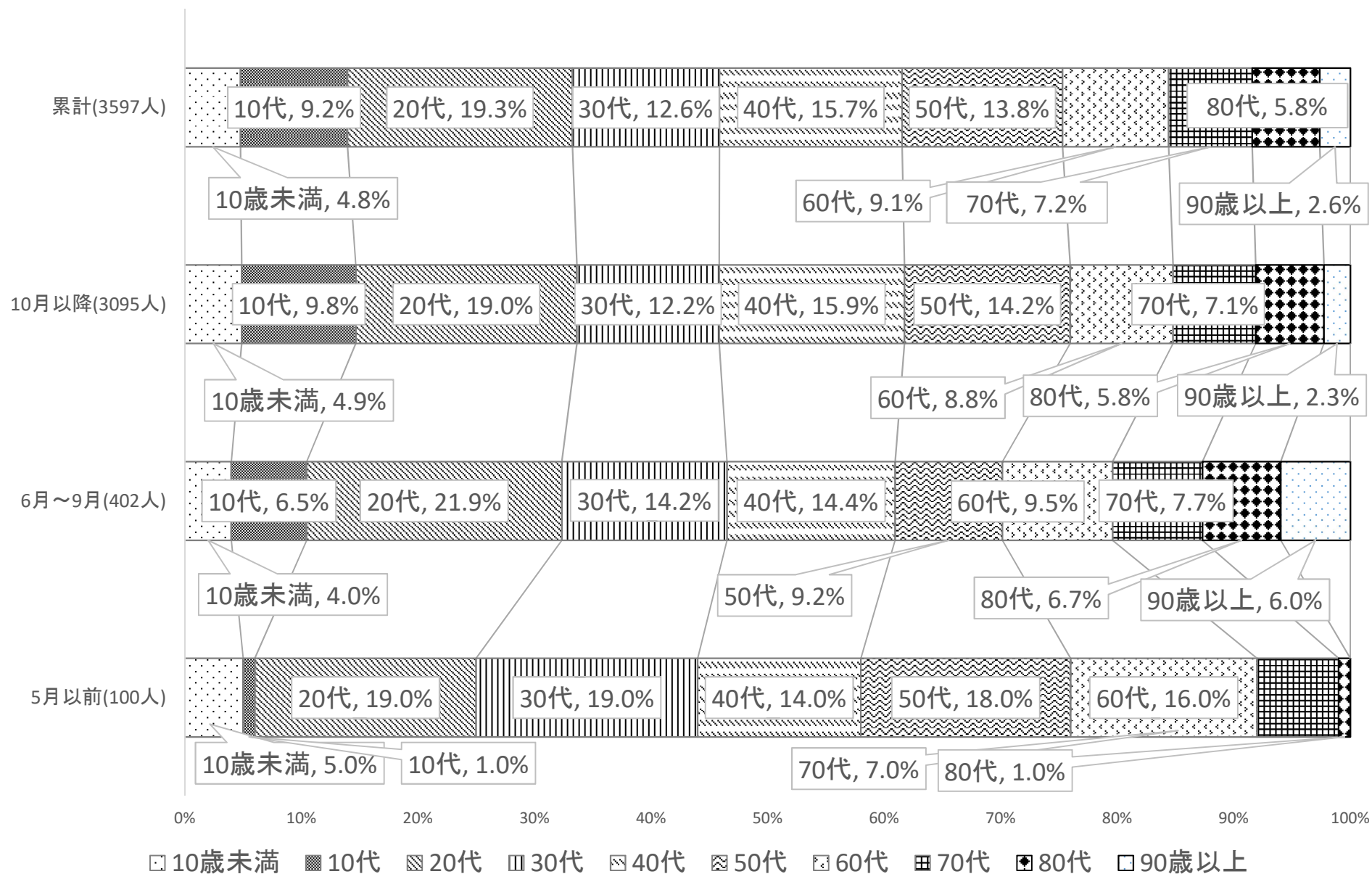
8)性別陽性者数

性別	陽性患者数
男性	1,825
女性	1,600
非公表(10歳未満)	172
計	3,597

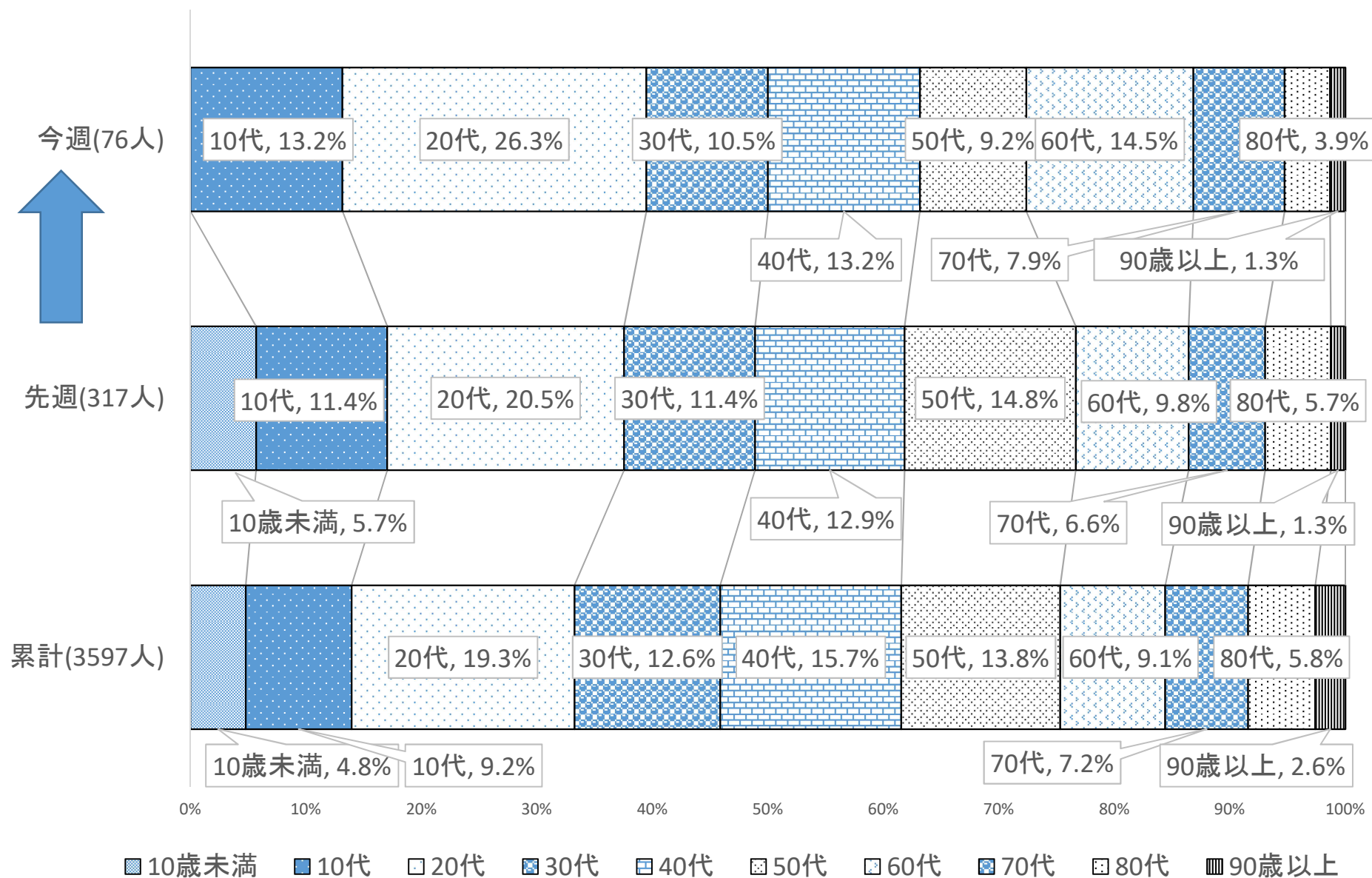
9)市町別陽性者数



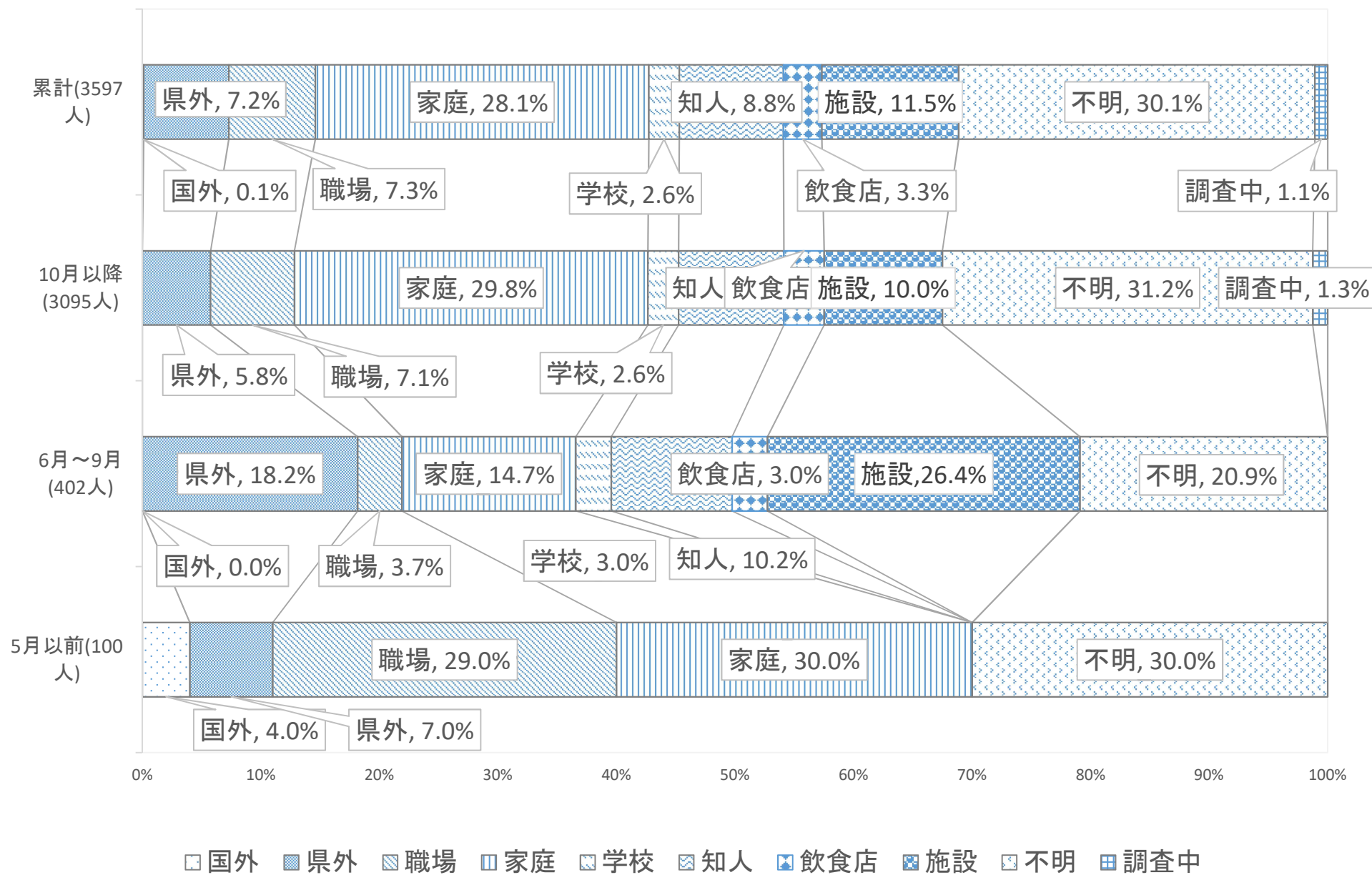
10)①年代別



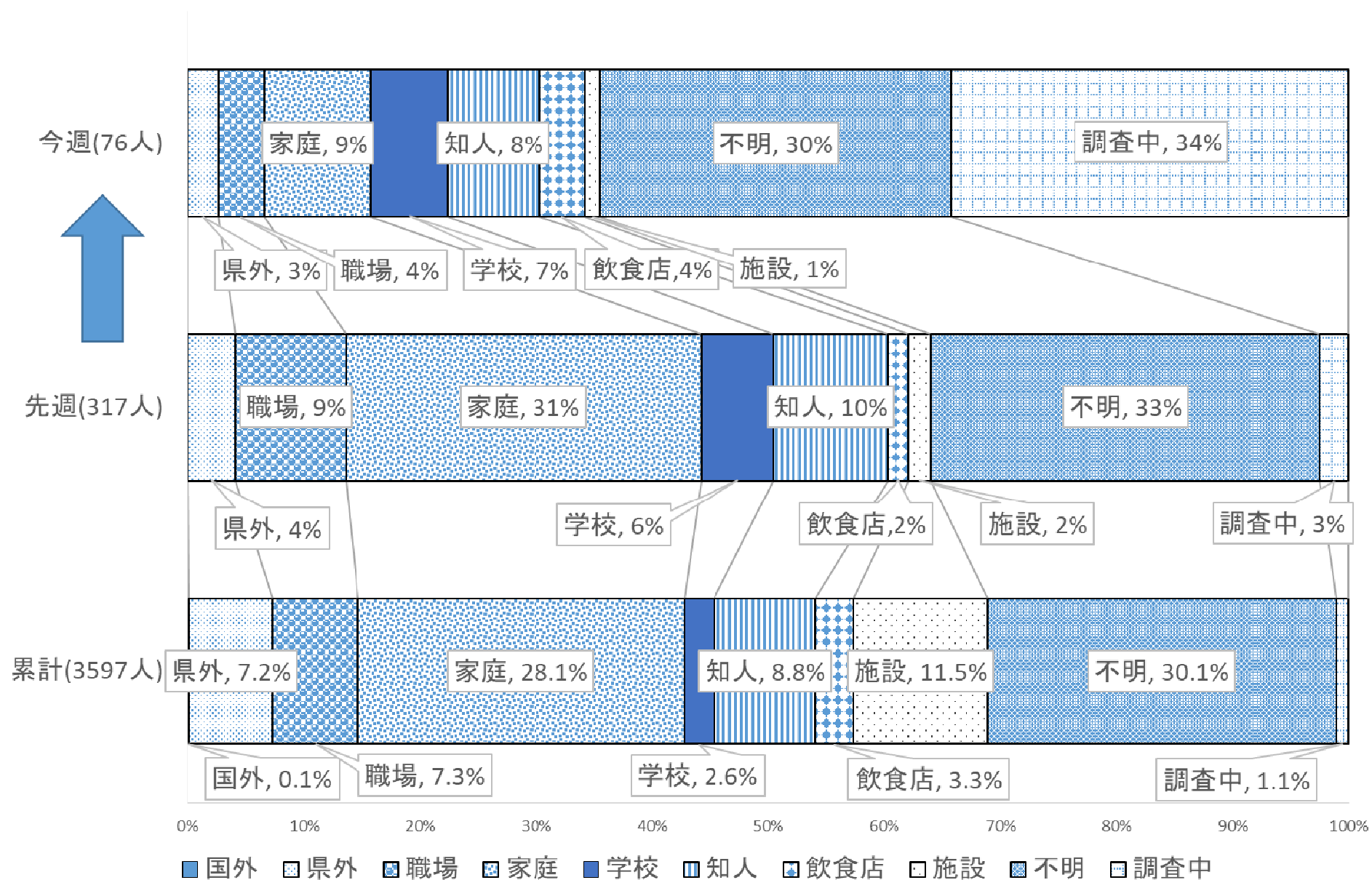
②年代別(週別)(4月27日現在) ※今週は4月26日~4月27日



11)①感染経路別



②感染経路別(週別)(4月27日現在) 今週は4月26日から4月27日

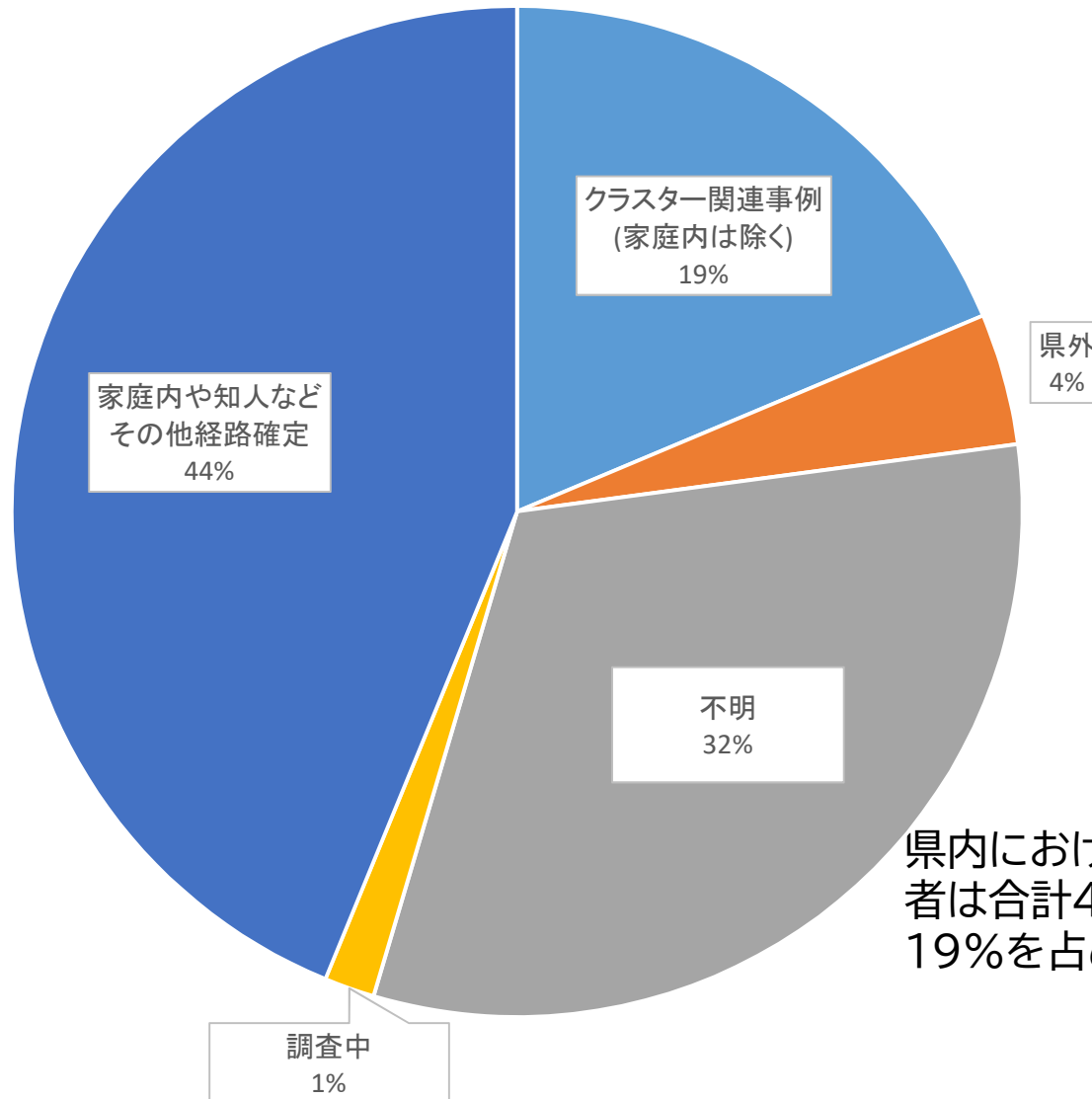


12)1月以降に発生したクラスターの状況

公表名	陽性者数	始期	公表名	陽性者数	始期
医療機関⑤	22	1月2日	医療機関⑩	40	2月19日
介護関連事業所⑤	31	12月31日	事業所⑦	6	2月25日
介護関連事業所⑥	8	1月5日	保育関連施設③	18	3月2日
介護関連事業所⑦	7	1月4日	飲食店⑤	19	3月3日
事業所④	8	1月14日	学校④	18	3月4日
介護関連事業所⑧	5	1月1日	飲食店⑥	9	3月3日
会食③	7	1月17日	介護関連事業所⑪	9	3月19日
飲食店③	24	1月20日	介護関連事業所⑫	6	3月19日
事業所⑤	4	1月23日	保育関連施設④	7	3月29日
介護関連事業所⑨	17	1月22日	学校⑤	6	3月29日
会食④	8	1月24日	事業所⑧	6	4月8日
医療機関⑥	5	1月23日	会食⑥	6	4月13日
医療機関⑦	23	1月29日	学校⑥	6	4月7日
医療機関⑧	7	2月1日	学校⑦	11	4月15日
会食⑤	7	1月30日	事業所⑨	8	4月13日
障害福祉関連事業所①	5	2月12日	飲食店⑦	5	4月15日
介護関連事業所⑩	7	1月25日	学校⑧	15	4月21日
事業所⑥	6	2月12日	医療機関⑪	8	4月14日
医療機関⑨	5	2月13日	事業所⑩	5	4月21日
飲食店④	22	2月15日	事業所⑪	5	4月13日
医療機関⑩	40	2月19日	飲食店⑧	6	4月24日
事業所⑦	6	2月25日	事業所⑫	5	4月23日

※県内において確認された陽性者数

1月以降の感染者(計2,422件)に占めるクラスター等の割合

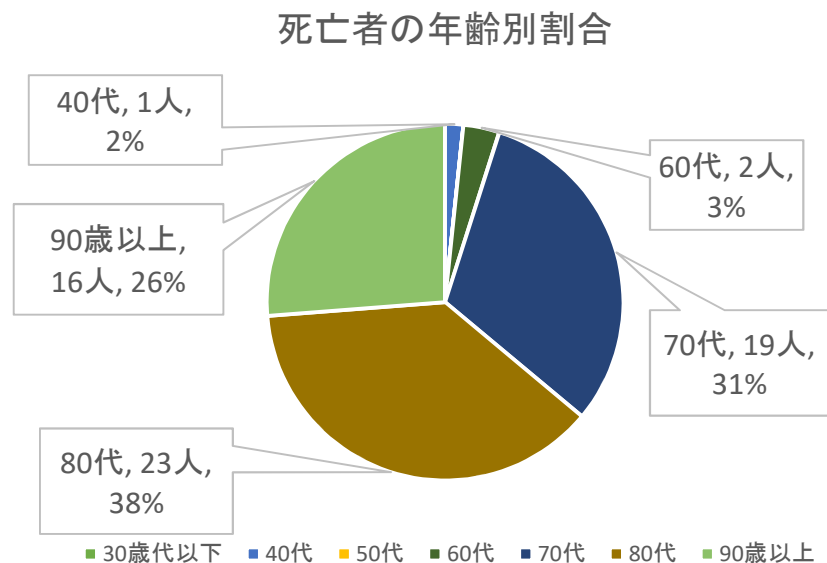


県内における1月以降のクラスター関連の陽性者は合計452名※で、1月以降の全陽性数の19%を占めています。

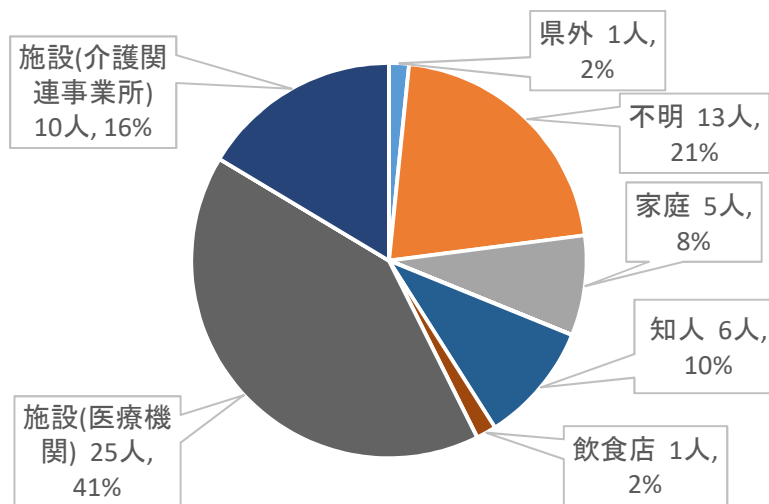
※1月以前のクラスター関連で1月に陽性が確認された者を含みます。

13)死亡事例(計61件)の状況

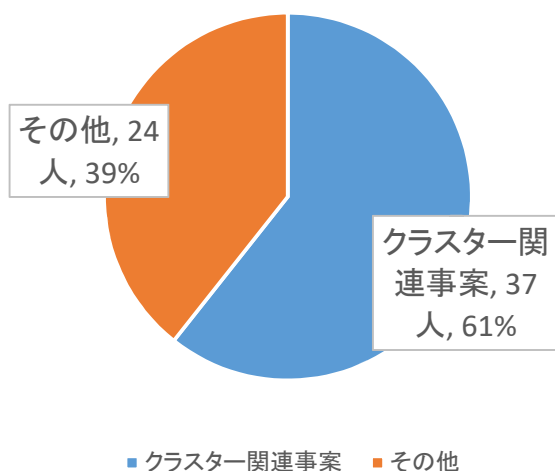
①死亡者の年代別割合



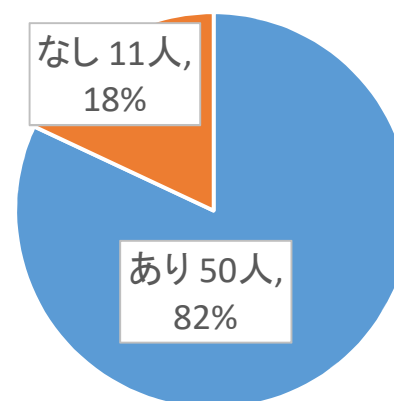
②死亡者の感染経路別割合



③クラスター事例に関連する死亡者の割合



④死亡者の基礎疾患の保有状況

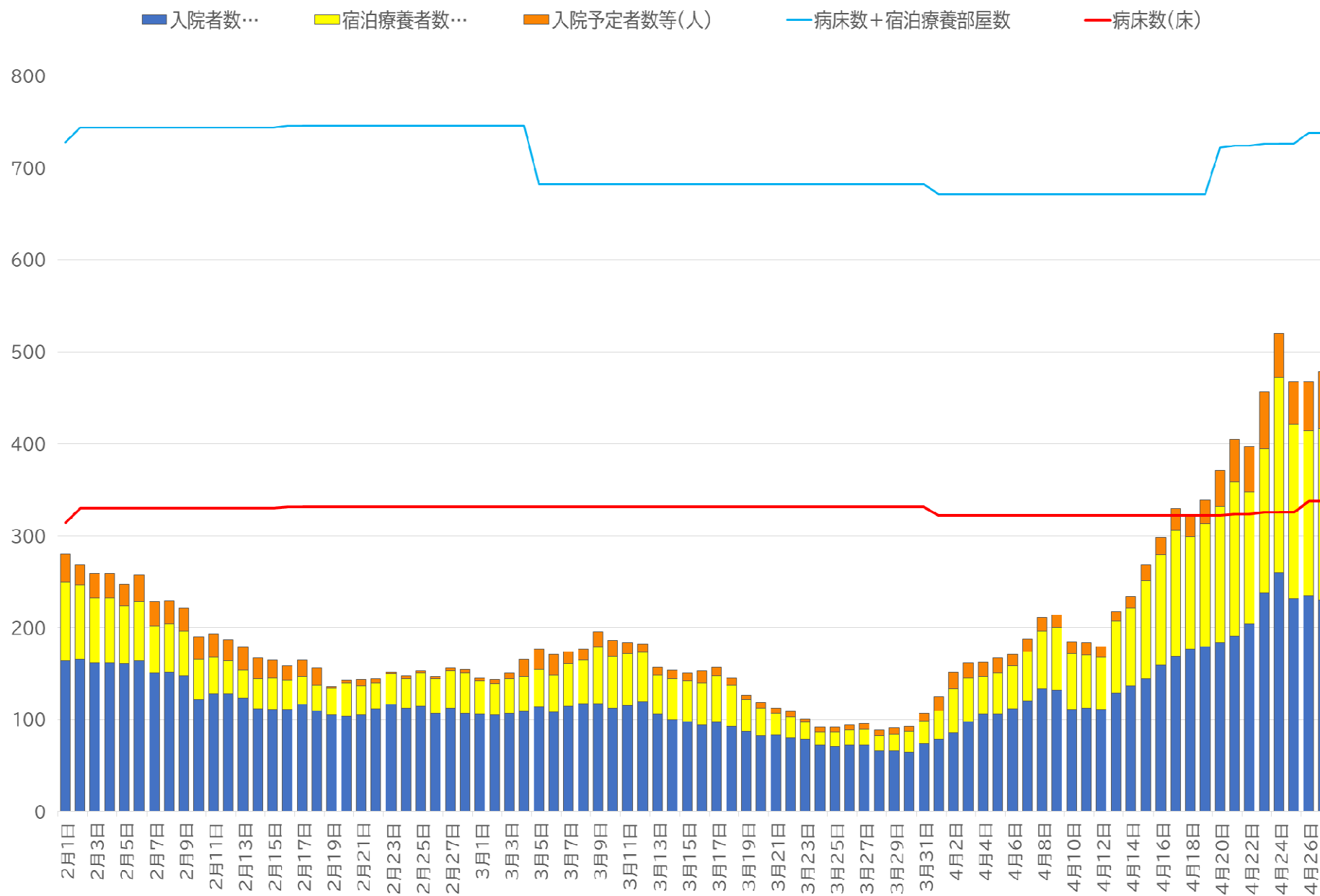


14)変異株の発生状況

①変異株に関する検査状況

検査実施月	変異株PCR検査の検査件数	変異株PCR検査の陽性件数	変異株PCR検査の陽性率
2月	426件	2件	0.5%
3月	186件	8件	4.3%
4月	293件	217件	74.0%
計	905件	227件	25.1%

入院医療体制について



医療体制の非常事態における対応

連日の新規陽性者数の増加を受け、「病床ひっ迫時における入院勧告・措置の対象者への臨時的な取扱い」により、医療資源を重症者・リスクの高い方に重点化し、宿泊療養施設の更なる活用を行っているが、病床のひっ迫度が上昇している状況。

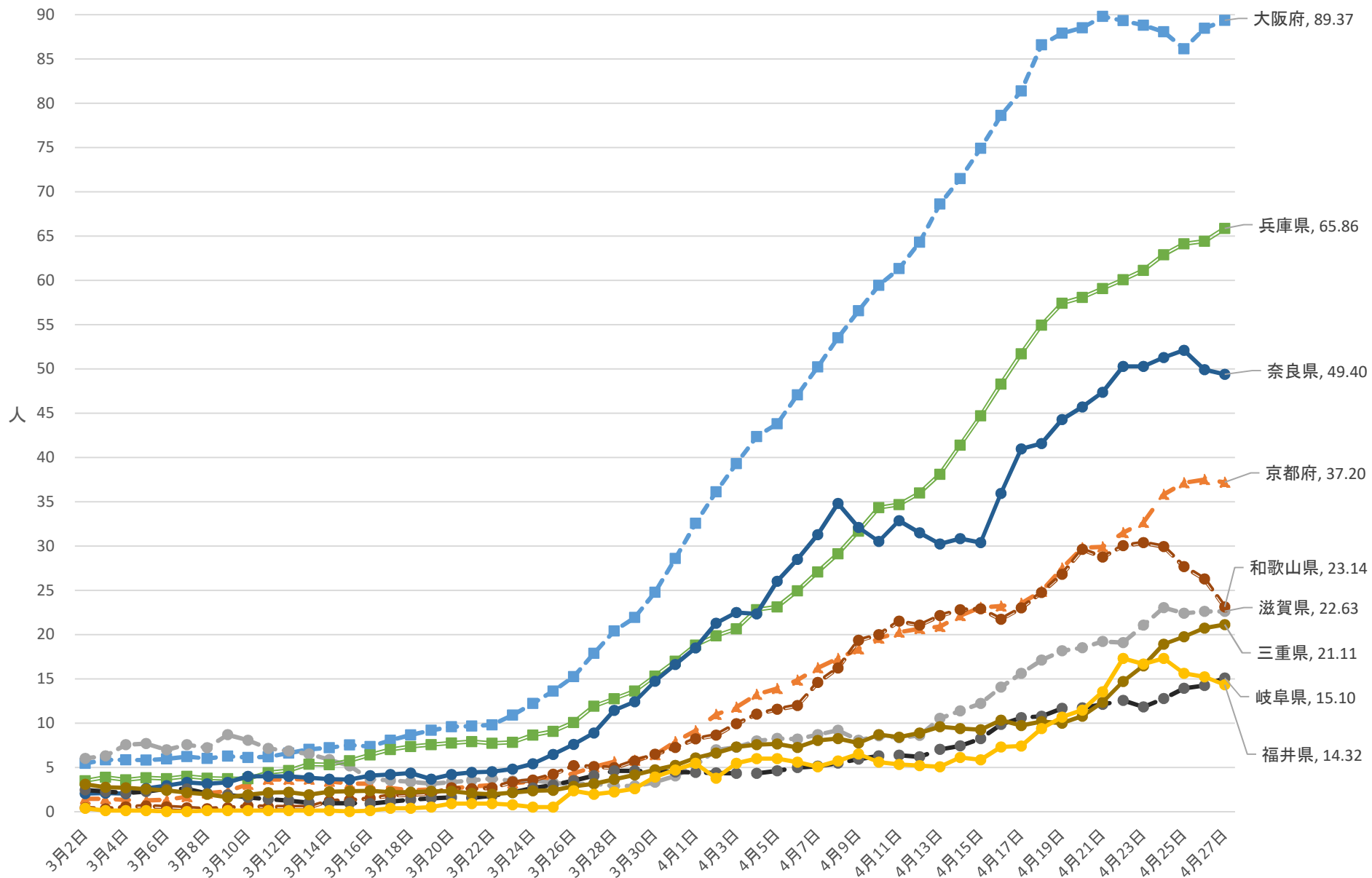
医療体制非常事態（4月27日現在）

現在の確保病床数の占有率	68.0%
重症者病床の占有率	26.5%
宿泊療養施設の占有率	46.5%

数週間の緊急的な患者対応に移行

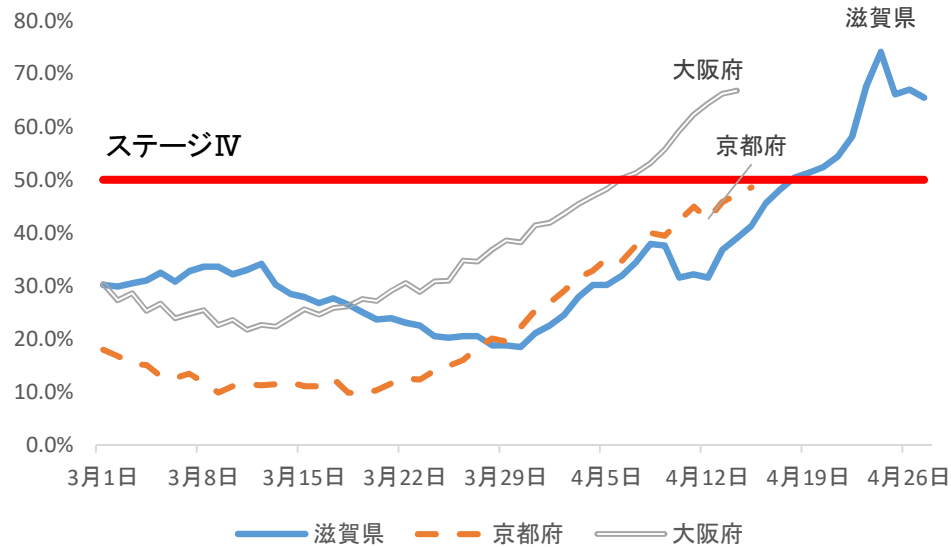
- ✓ 緊急的な病床確保方策が可能との意向を示した医療機関に対してさらなる増床を要請。
 - ✓ 常駐の看護師等の増員による健康管理体制を強化した宿泊療養体制を確保。
 - ✓ 今後さらに自宅療養者が増加した場合であっても、宿泊療養施設と同様に健康管理・生活支援が実施できる体制を整備する。
- ➡健康観察業務を訪問看護ステーションへ委託。圏域単位で速やかに開始

近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移(直近7日間の累計患者数)(3/1-4/27)

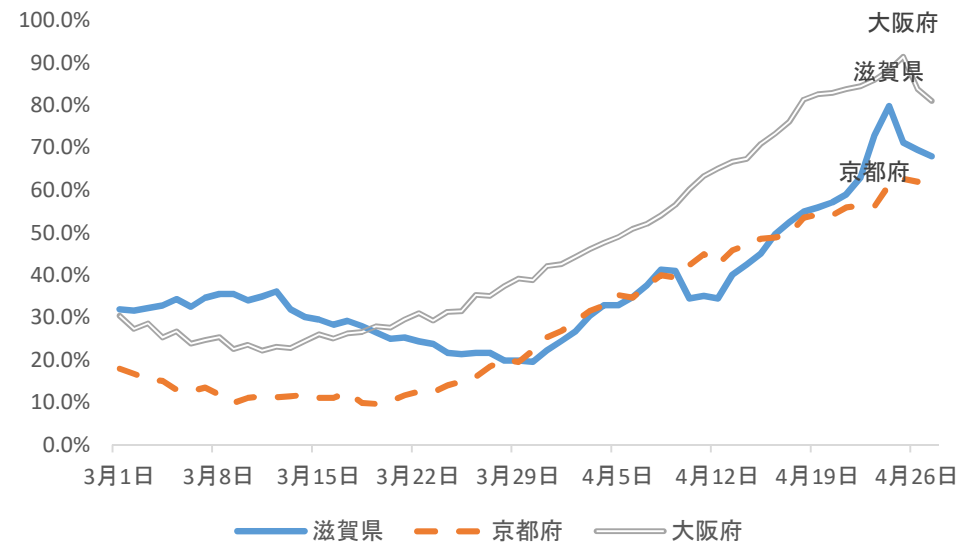


ステージ判断指標の推移

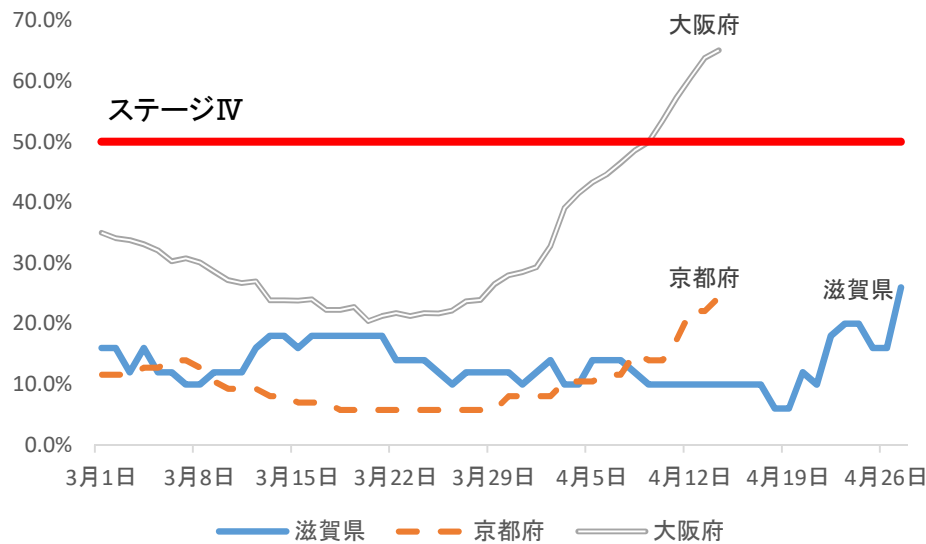
最大確保病床の占有率



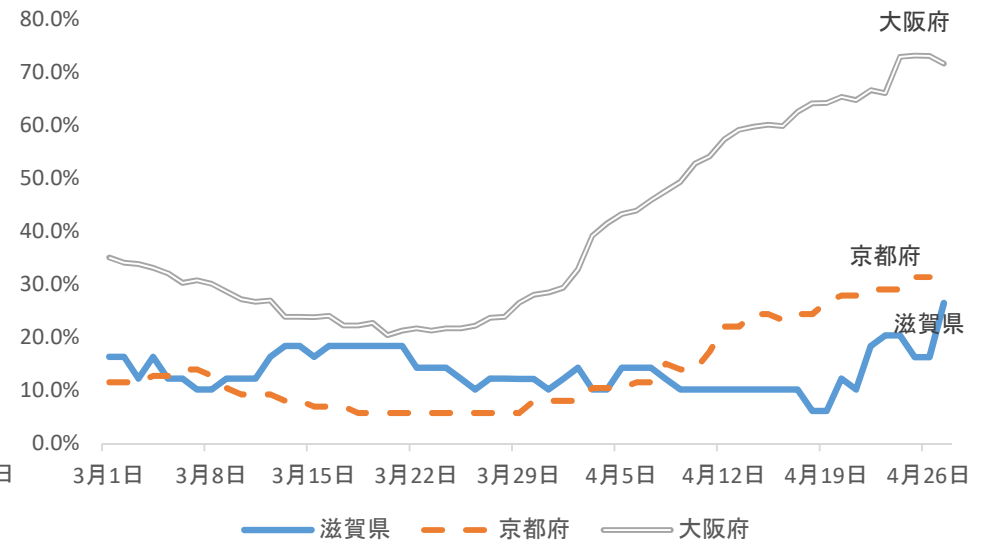
現時点の確保病床数の占有率



重症者用病床の最大確保病床の占有率

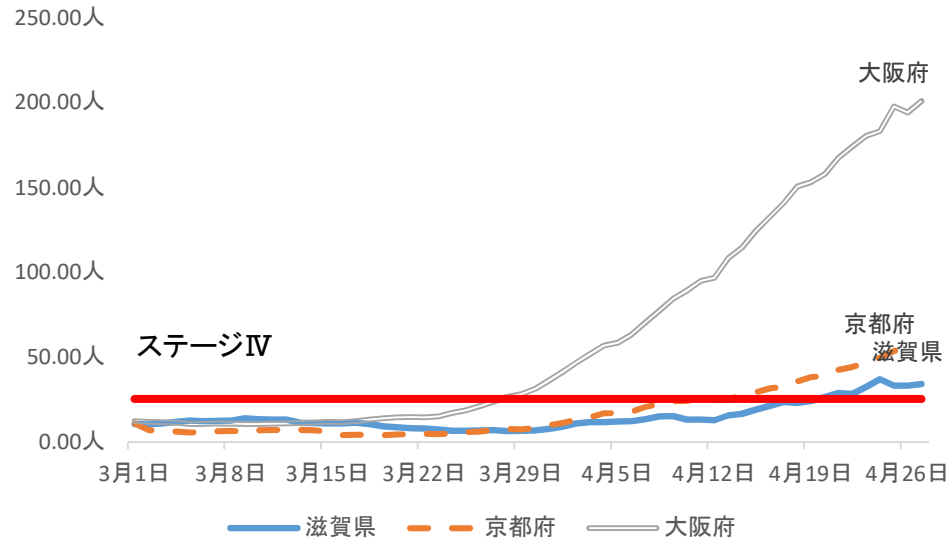


重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率

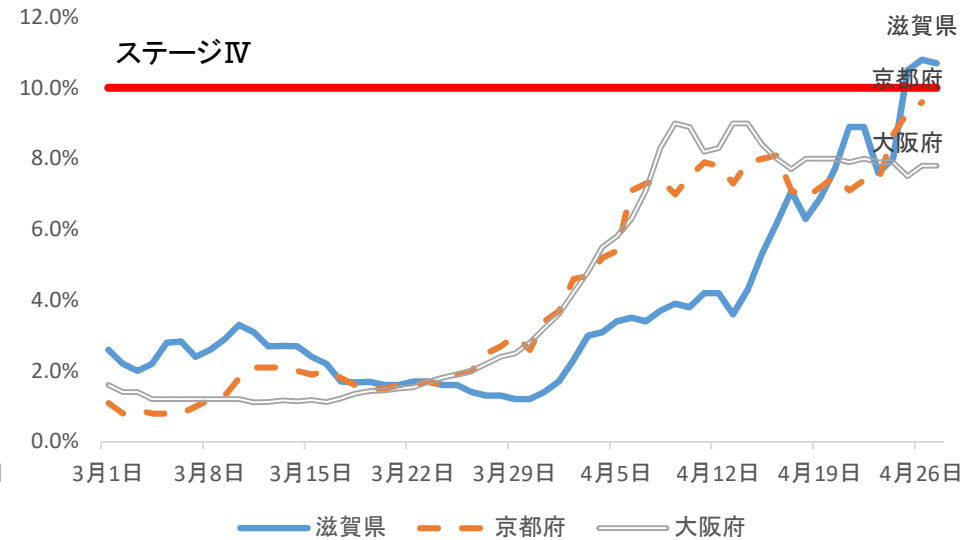


ステージ判断指標の推移

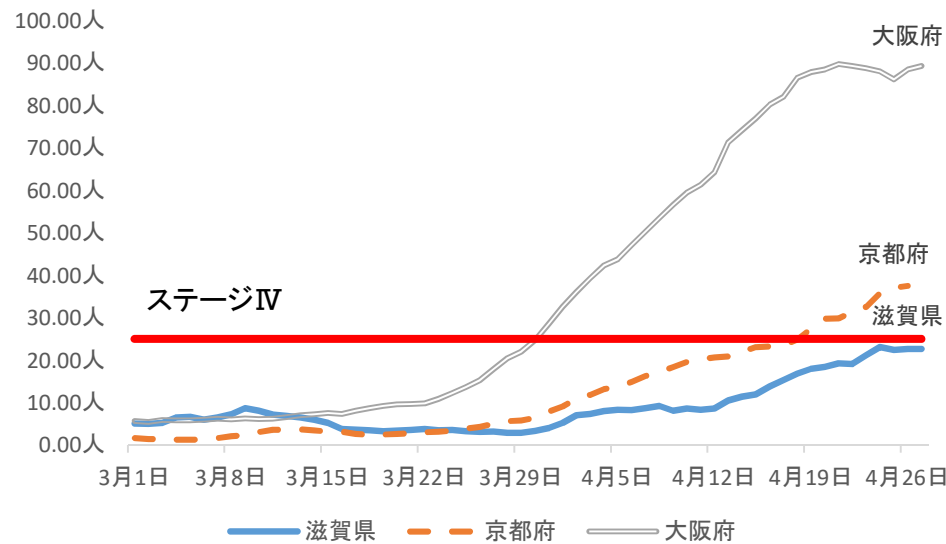
人口10万人当たりの全療養者数



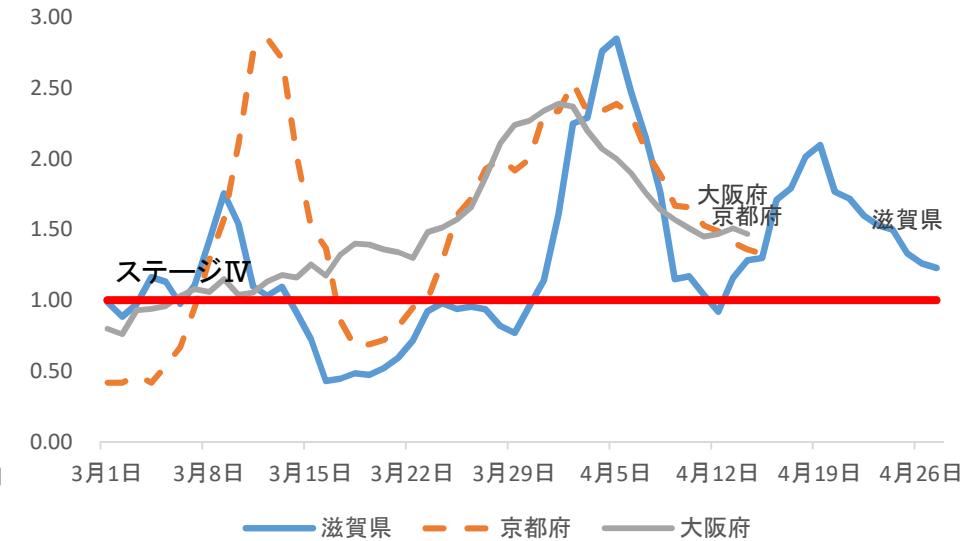
PCR陽性率



新規報告者数

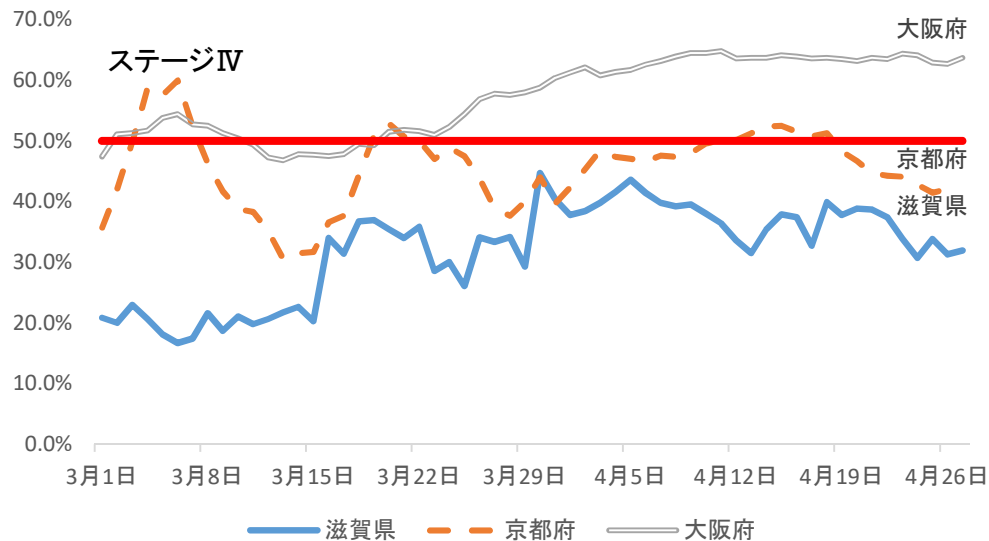


直近1週間と先週1週間の比較



ステージ判断指標の推移

感染経路不明割合



●入院率について

$$\text{入院率} = \text{入院患者} \div \text{全療養者数}$$

ステージⅣの指標: 25%以下 ステージⅢの指標: 40%以下

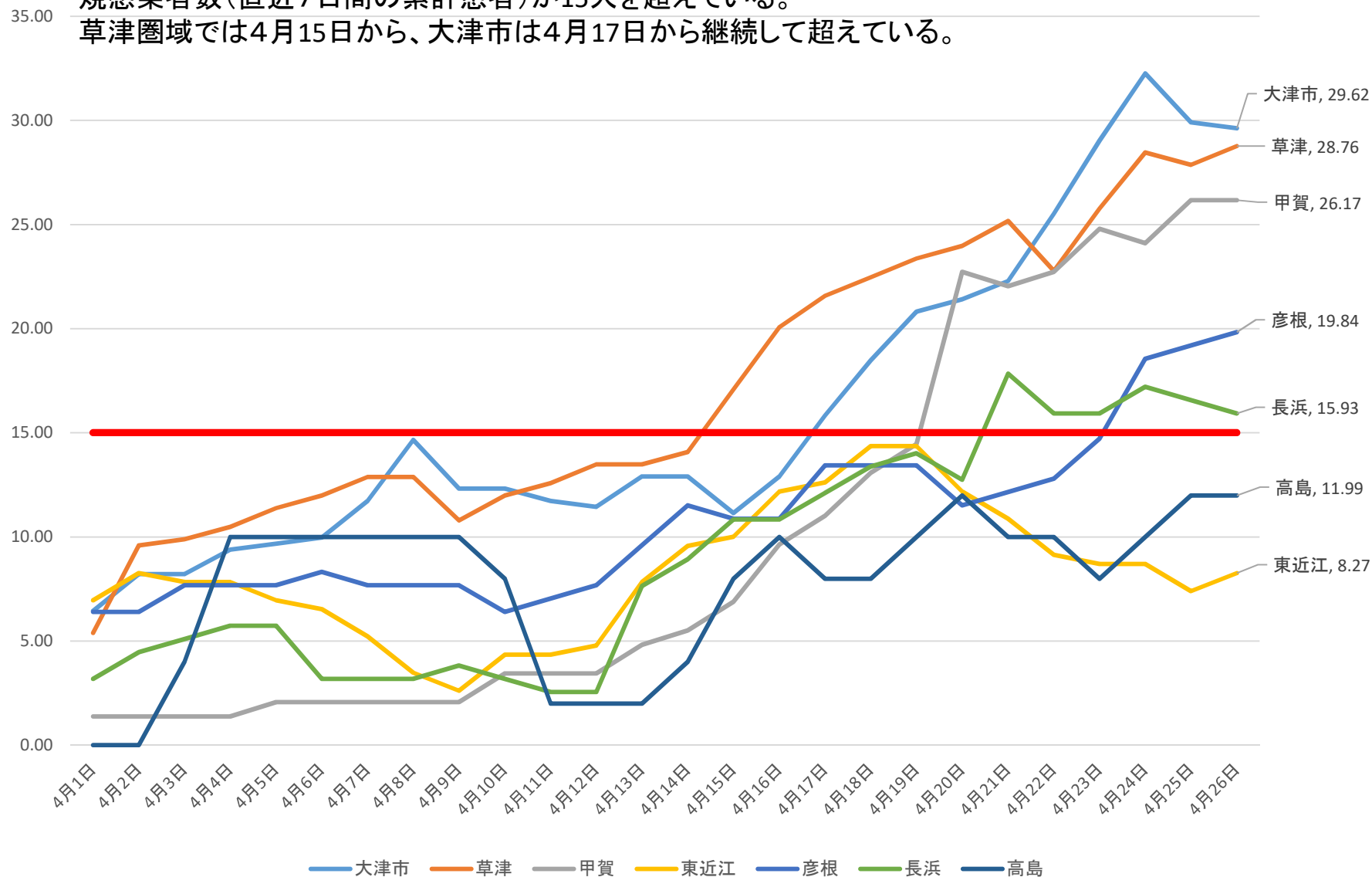
⇒現在、滋賀県は、発生届のあった翌日までに療養場所が決定され、入院が必要な方が同日までに入院できているため指標を適用しない。

※入院率については、感染拡大に伴い療養者数が増加すると、入院できない自宅療養者等が増加することとなり、入院者に対する療養者が増加することから医療の逼迫状況を把握するための指標として用いるものである。このため、入院率の指標については療養者数が人口10万人あたり10人以上の場合に適用する。また、新規陽性者が、発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には入院率を適用しない。

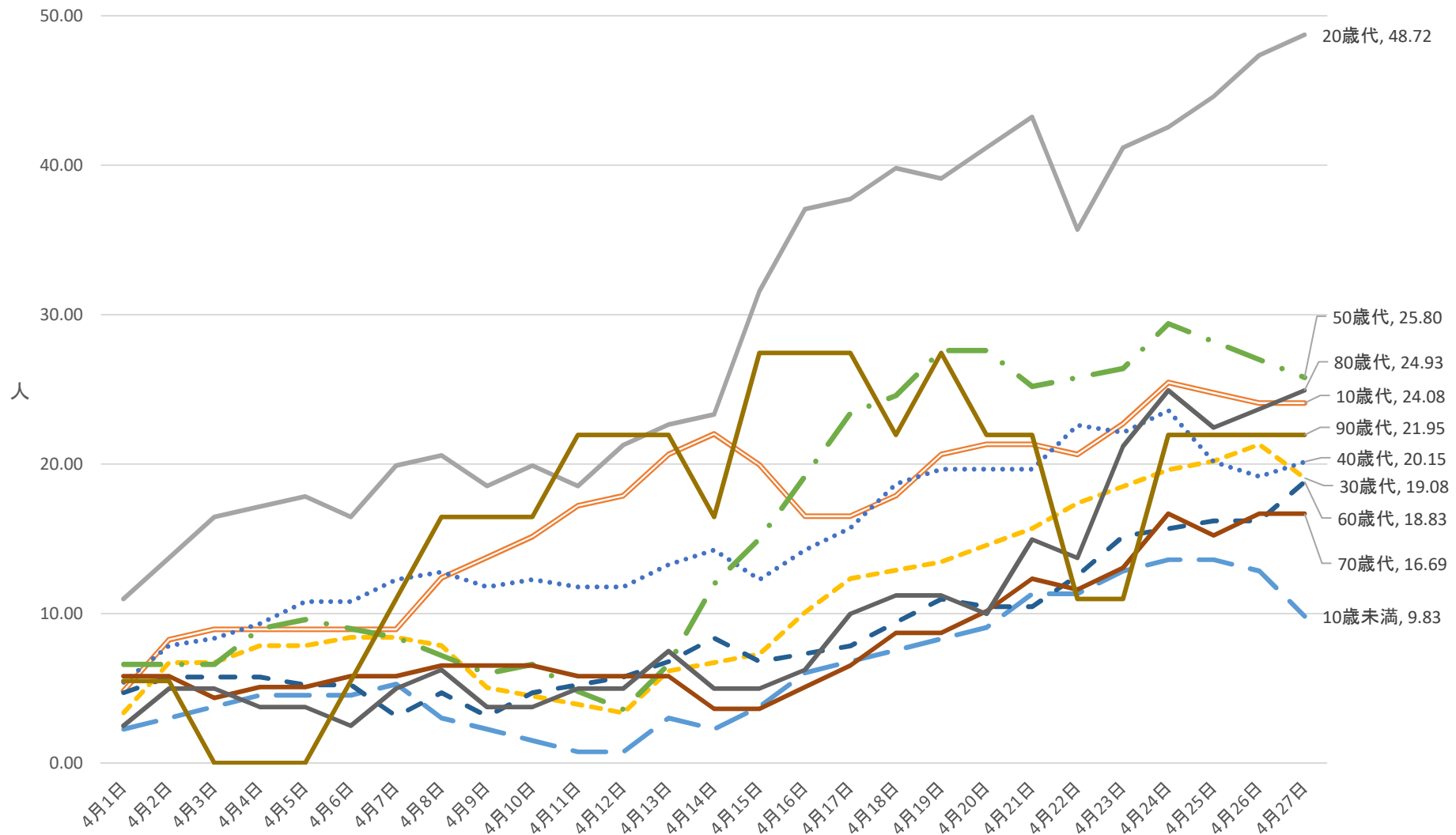
保健所別10万人あたりの新規感染者数(直近7日間の累計患者数)(4/1~4/27) 日別・公表日

大津市、草津圏域、甲賀圏域、彦根圏域、長浜圏域で10万人あたりの新規感染者数(直近7日間の累計患者)が15人を超えている。

草津圏域では4月15日から、大津市は4月17日から継続して超えている。

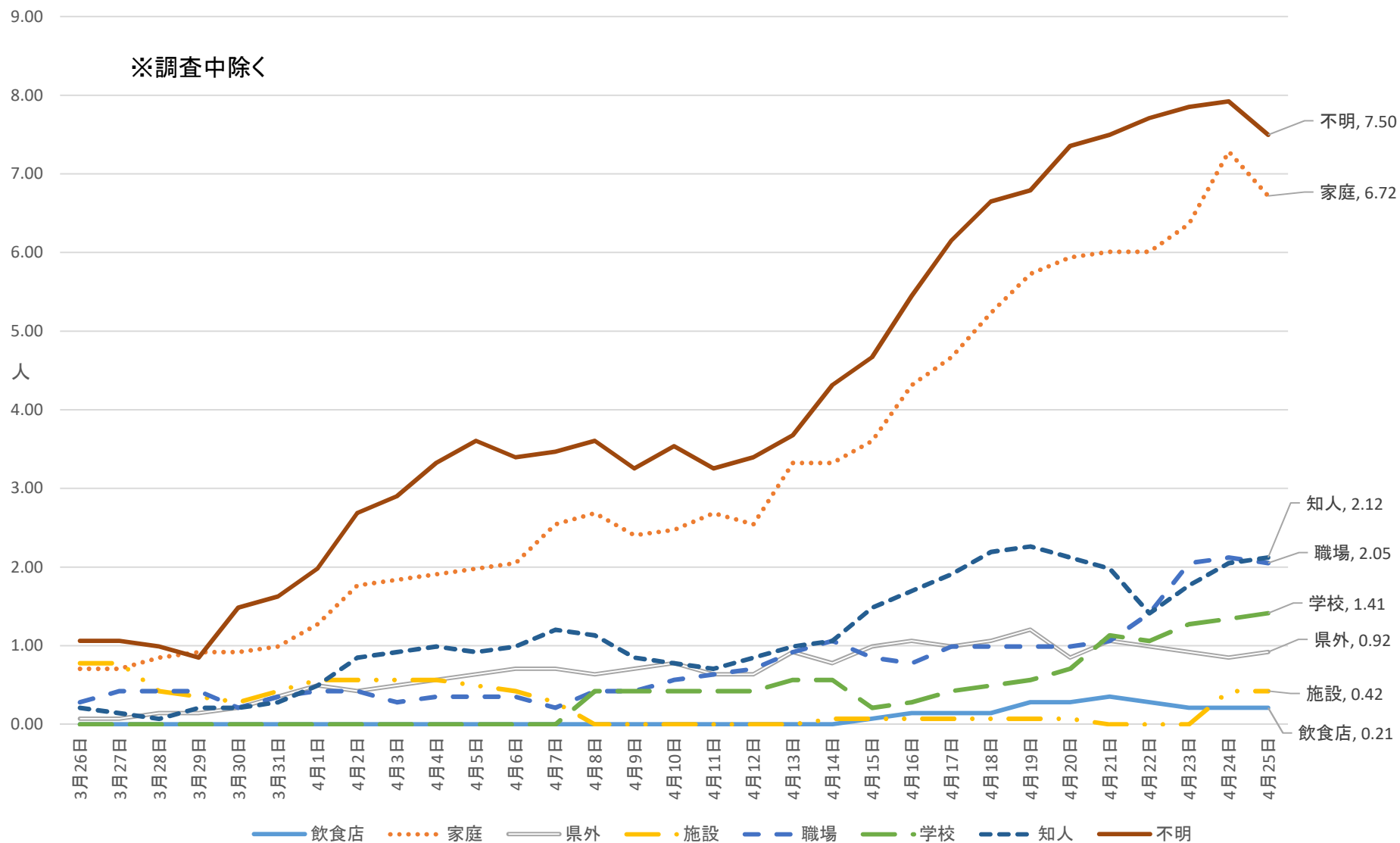


滋賀県 年代別10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (4/1~4/27) 日別・公表日



20歳代が増加傾向にあり、急増した4月12日以降から26日までの構成は、66.4%が社会人、20.3%が学生であった。20歳代の感染経路では、不明が最も多く41.3%、次いで家庭内が15.4%、知人が14.7%であった。60歳以上の陽性者数も4月中旬より増加しており、今後の重症者の増加が懸念される。

滋賀県 感染経路別の10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (3/26~4/25) 日別・公表日



感染経路不明および家庭での感染が、増加傾向にある。

家庭での感染経路(4/12~4/27公表日)

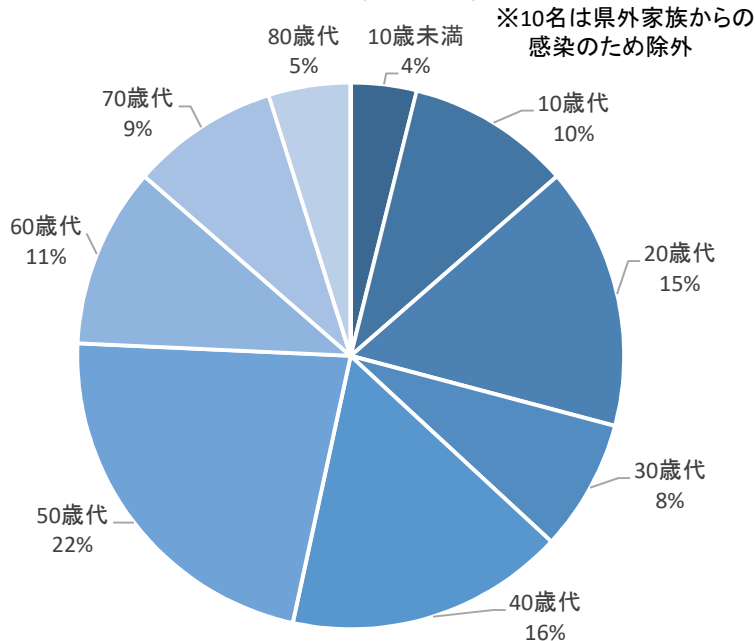
家族内感染者(4/12~4/27):178人



感染源となった患者数:113人

1人あたり約1.58人に広げている計算

感染源の年齢構成(4/12~4/27)(n=103)



感染源の感染経路

不明	知人等	職場	県外
71	26	5	1



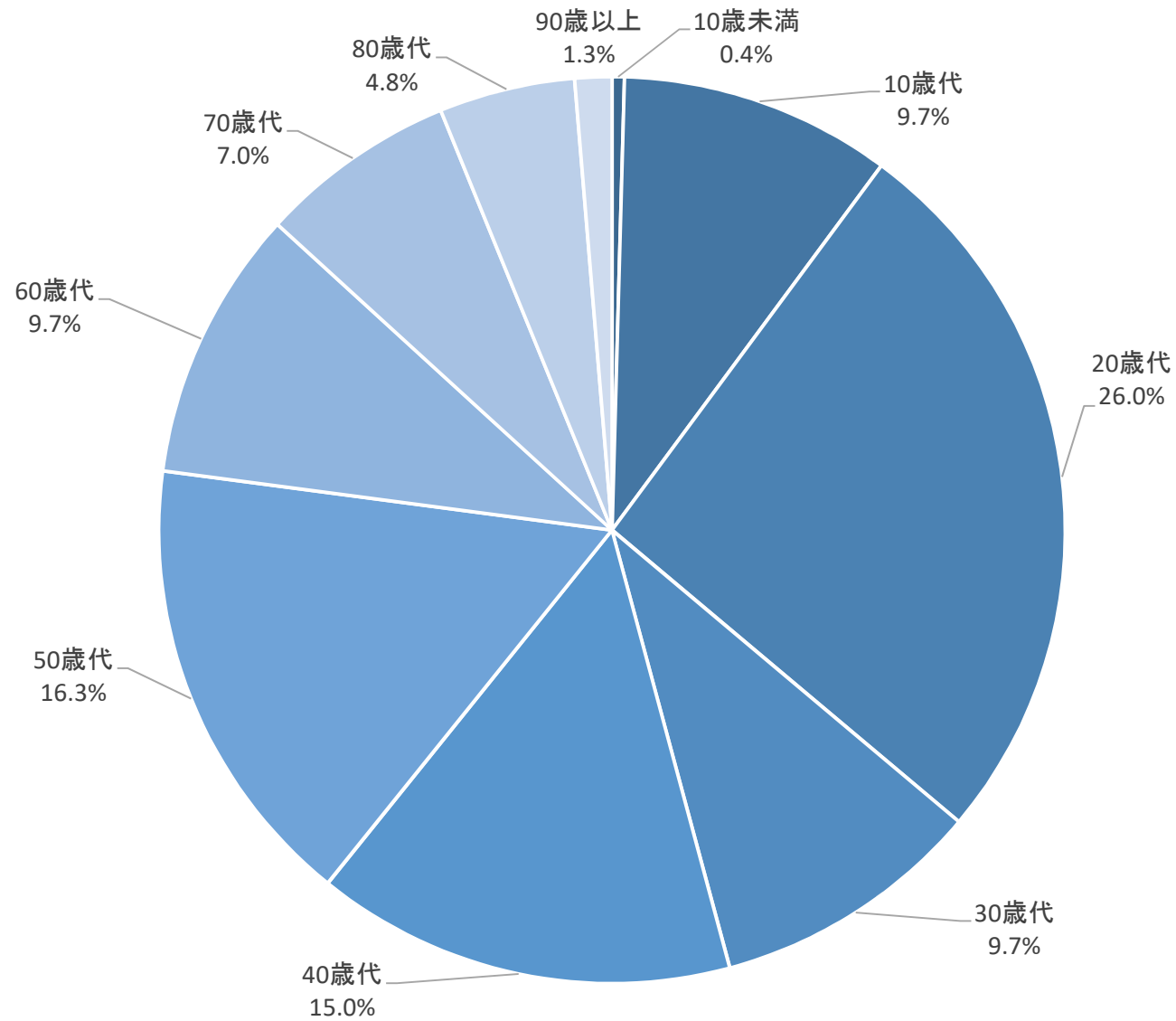
同居家族や普段一緒にいる人以外との接触歴

県外	県内
18	19

- 家族内の感染源と考えられる患者の年齢は、50歳代が多く、次いで40歳代、20歳代が多い。
- 感染源の感染経路は不明が多く、不明のうち半数以上が、県内外で家族以外との接触(飲食等)があった。

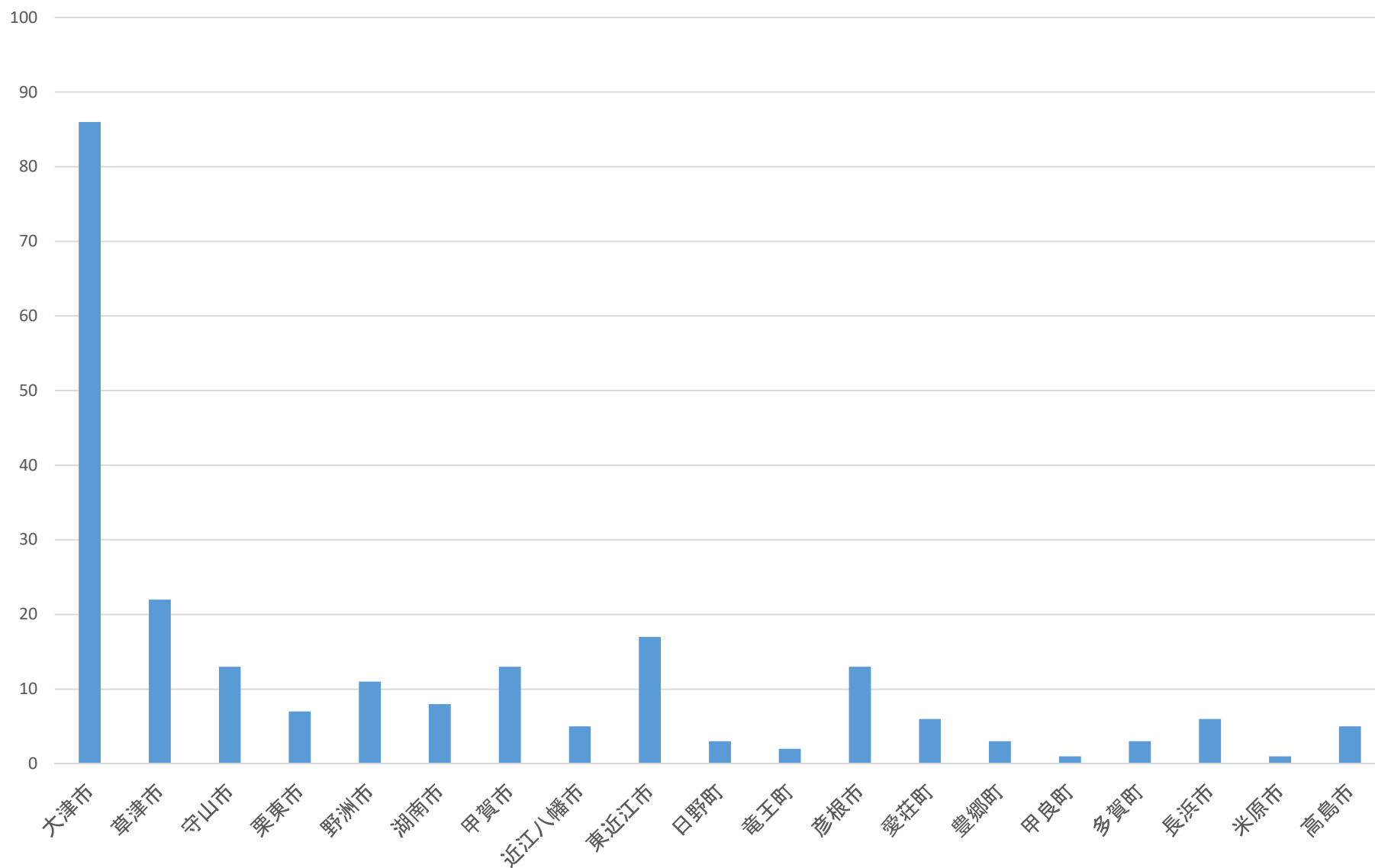
感染経路不明(4/12~4/27 公表日)

感染経路 不明の年代別(4/12~4/27 公表日)(n=227)



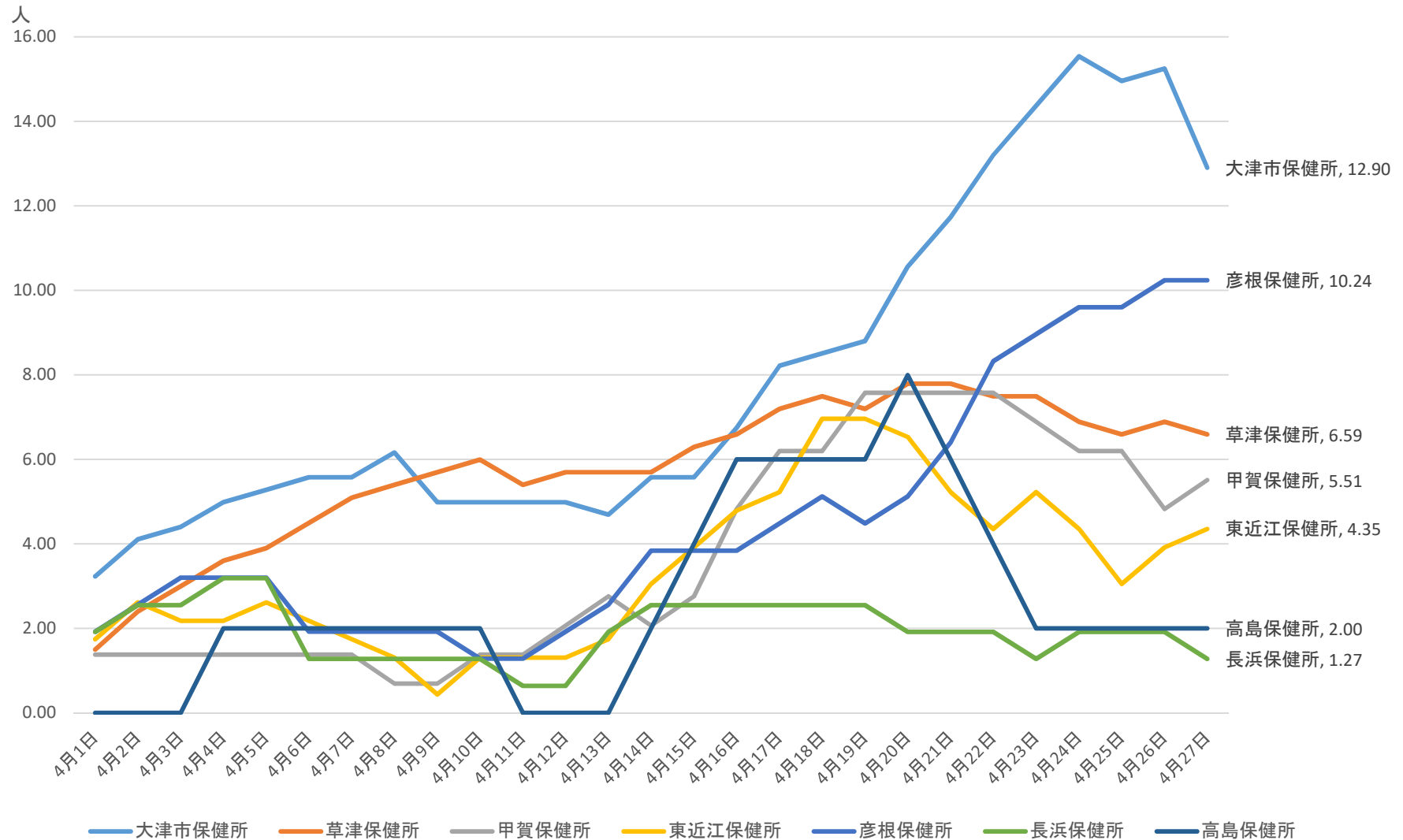
感染経路不明(4/12~4/27 公表日)

市町別 4月(4/12~4/27 公表日)感染経路不明者数

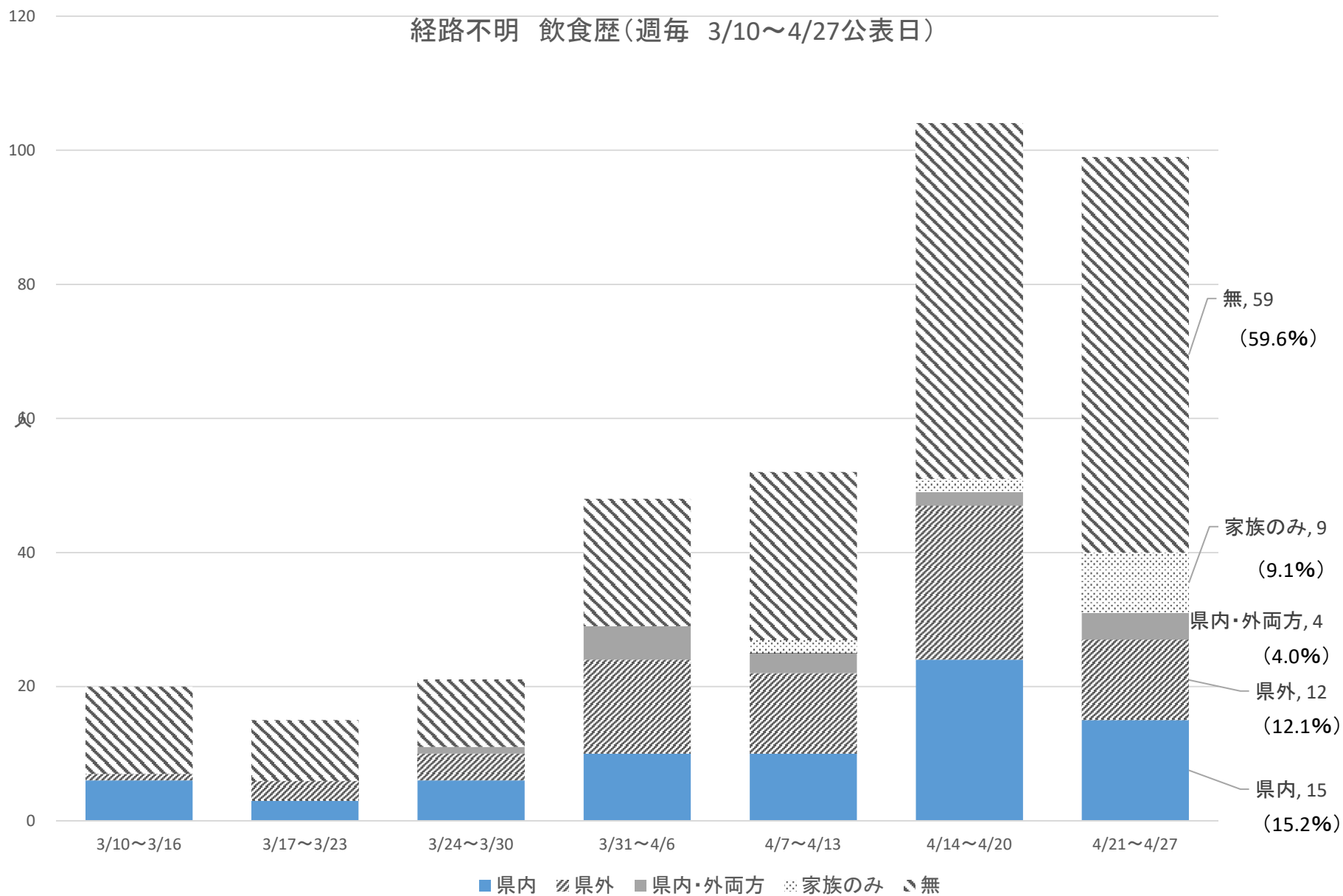


感染経路不明(4/1~4/27 公表日)

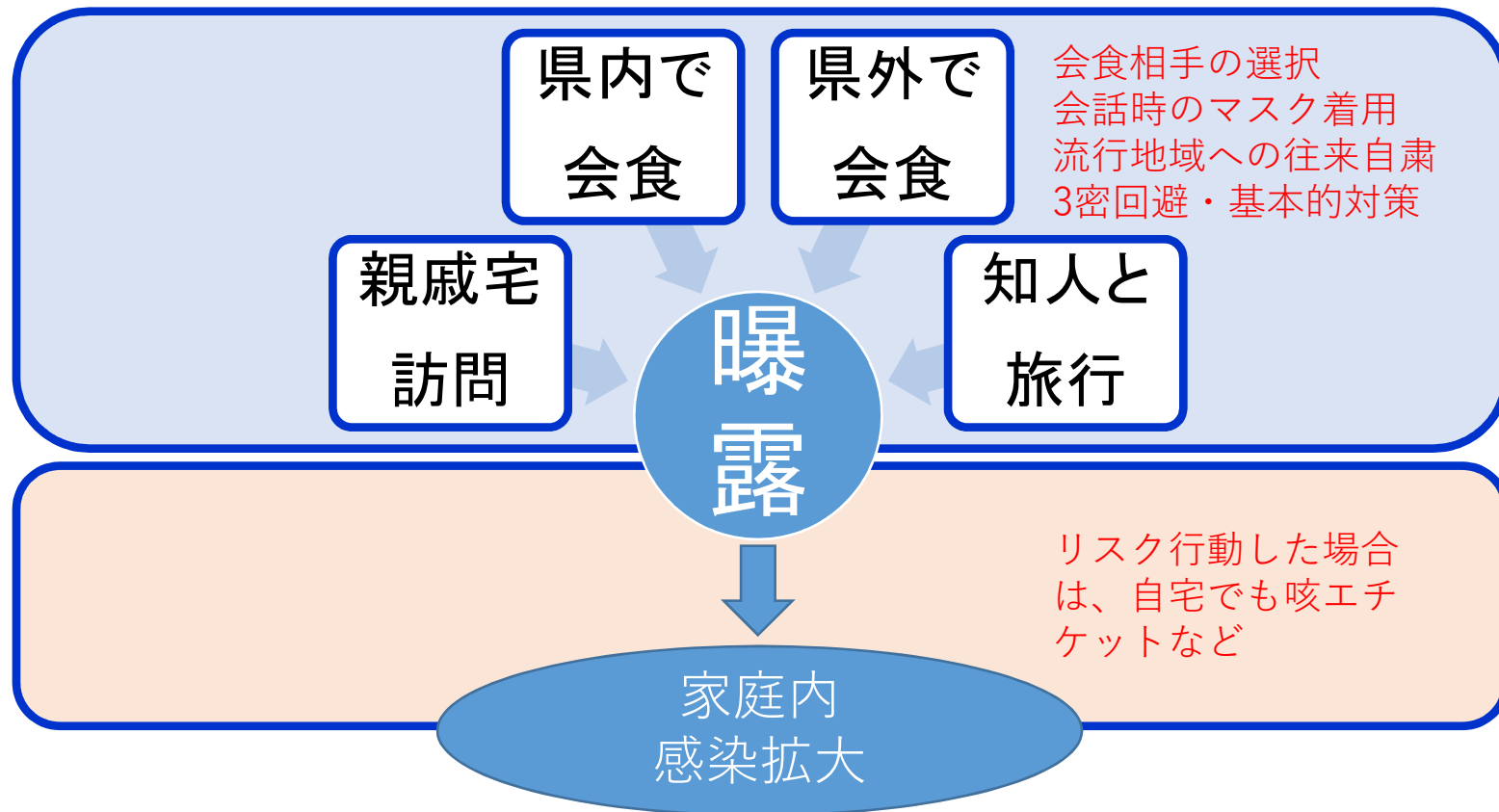
保健所別 人口10万人あたり感染経路不明者(直近7日間の累計患者数)
(4/1~4/27 公表日)



感染経路不明 飲食歴(3/10~4/27公表日)



家庭内感染のイメージと対策ポイント



評価

- 新規患者数は継続的に増加している。特に20歳代が多く、増加傾向が継続している。
 - 病床の占有率および人口10万人当たりの全療養者数は、ステージⅣの水準に達した。
 - 推定感染経路は家庭内および感染経路不明の割合が高い。
 - 解析されたものの内、変異株が占める割合が増大している。
- 家庭内感染から施設クラスターと推測される事例も出ている。家庭内での感染拡大を防止するためには、家庭内へのウイルスの持ち込みを防ぐための、より強い対策が必要である。
 - 緊急事態宣言実施区域等の感染拡大地域への不要不急の往来を控える。
 - 県内外において感染リスクが高い行動を控える。
 - 家族以外の方とマスク着用なく会話すること
 - 3密環境で家族以外の方と接触すること
 - 感染リスクが高い行動をした場合は、家庭内での感染予防対策を強化する。
 - ・帰宅時および飲食前には手洗い
 - ・会話時のマスク着用
 - ・タオルの共有をしない
 - ・部屋の定期的な換気
 - ・こまめな共有部分の消毒